

RICOH

GR

RICOH GR IV Monochrome

使用説明書

本製品のシリアル番号は、本体底面に記載されています。

1章 基礎知識

お使いになる前に必ずお読みください。

RICOH GR IV Monochrome の全体像を紹介しています。

2章 準備

はじめてお使いになるときは必ずお読みください。

電源を入れる、撮影する、再生するなど、はじめてこのカメラをお使いの方でも基本的な操作ができるようになります。

3章～

目的に応じて必要なときにお読みください。

いろいろな撮影や再生機能のほか、カメラのカスタマイズ、パソコンを利用する方法などが記載されています。

Model: R09010

■ はじめに

この使用説明書には、本カメラを使って撮影や再生機能を利用する方法や使用上の注意について記載しております。

本カメラの機能を十分にご活用いただくため、ご使用の前に本書を最後までお読みください。本書が必要になったときすぐに利用できるよう、お読みになった後は必ず保管してください。

ご使用にあたっては、カメラのファームウェアを常に最新の状態にしておくことをお勧めします。

最新のファームウェアの詳細は、ファームウェアダウンロードページをご参照ください。

<https://www.ricoh-imaging.co.jp>

リコーイメージング株式会社

お客様登録のお願い

このたびは、リコーイメージング製品をお買い求めいただきありがとうございます。

ご購入商品に関する適切なサポートやサービスを提供するために、お客様登録をお願いしております。

お客様登録は、以下の弊社ホームページからお願いいたします。

<https://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/>

なお、ご登録いただいた方には、Eメール（ファームウェアなどのサポート情報）の配信を行っております。

安全上のご注意について	安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず「安全上のご注意」をお読みください。
テスト撮影について	必ず事前にテスト撮影をして正常に記録されていることを確認してください。
著作権について	著作権の目的になっている書籍、雑誌、音楽などの著作物は、個人的または家庭内およびこれに準ずる限られた範囲内で使用する以外、著作者に無断で複写、改変などすることは禁じられています。
ご使用に際して	万一、本カメラなどの不具合により記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。
保証書について	本カメラは国内仕様です。保証書は日本国内において有効です。海外で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。
電波障害について	<p>他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、以下のようにしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビやラジオなどからできるだけ離す ・テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える ・コンセントを別にする <p>〈電波障害自主規制について〉</p> <p>この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。</p> <p>使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。</p>

VCCI-B

本書の一部または全部を無断転載することを禁止します。

© RICOH IMAGING COMPANY, LTD. 2025

本書の内容に関しては将来予告なく変更することがあります。

本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きのことがありましたら、巻末をご覧の上ご連絡ください。

無線 LAN / Bluetooth® 機能について

- ・電気製品、AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- ・磁気や電磁波の影響を受けると、通信ができなくなることがあります。
- ・テレビ、ラジオなどの近くで使用すると、受信障害の原因になったり、テレビ画面が乱れことがあります。
- ・近くに複数の無線 LAN アクセスポイント / Bluetooth® 機器が存在し、同じチャネルを使用していると正しく検索できない場合があります。
- ・データはお客様の責任において管理してください

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更し、混信を回避してください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サービス窓口にお問い合わせください。

本製品は、日本電波法、電気通信事業法、ならびにVCCI 協会の運用規程に基づく技術基準に適合し、技適マーク、およびVCCI マークを、画面に電子的に表示することができます。



認証マークの表示方法

- 1 **MENU** を押してメニュー画面を表示する
- 2 **▲▼◀▶** を操作して **↺8** メニュー（情報表示）を表示する
- 3 **▲▼◀▶** を操作して [認証マーク] を選択し、 **OK** を押す

商標について

- ・Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・Mac、macOS、App Store は、Apple Inc. の商標です。
- ・iOS は、米国およびその他の国における商標またはシスコの登録商標であり、ライセンスのもとに使用されます。
- ・Adobe、Adobe ロゴは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- ・この製品は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の許可のもと、DNG 技術を取り入れています。
- ・DNG ロゴは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- ・microSDXC ロゴは、SD-3C, LLC の商標です。
- ・Google、Google Play、Android は、Google LLC の商標または登録商標です。
- ・Bluetooth は、米国 Bluetooth SIG, INC. の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
- ・USB Type-C および USB-C は USB Implementers Forum の商標です。
- ・DisplayPort™ は、the Video Electronics Standards Association (VESA®) の米国およびその他の国々における商標です。
- ・HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国々における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- ・その他の会社名および製品名、ロゴマークは各社の商号、商標または登録商標です。
- ・本製品は株式会社リコーがデザイン制作したリコー RT Font を使用しています。

AVC Patent Portfolio License について

本製品は、お客様が個人使用または報酬を受けないその他の利用で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされているものです。

- (i) AVC 規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものを AVC ビデオといいます）
- (ii) 個人利用の消費者によりエンコードされた AVC ビデオ、または AVC ビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手した AVC ビデオをデコードすること

上記以外の使用については、默示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、Via Licensing Alliance から取得することができます。

<https://www.via-la.com/> をご参照ください。

オープンソースソフトウェアに関するお知らせ

本製品には GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他のライセンスに基づくオープンソースソフトウェア (OSS) が含まれています。本製品に搭載される各 OSS のライセンスについては、本製品の内蔵メモリー上にテキストデータとして保存しております。本製品を PC と接続した上で、[Software License] - [oss_license] フォルダー内の各テキストファイルのライセンス規定をご参照ください。

なお、GPL、LGPL 等のライセンス条件に従い、本製品で利用している OSS のソースコードを開示しております。入手をご希望されるお客様は、次の URL にアクセスしてください。

<https://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/products/oss/>

■ 安全上のご注意

表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。

△ 危険 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って発生する可能性がある内容を示しています。

△ 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

△ 注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



○ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

○ の中に具体的な禁止内容が描かれています。

●表示例

○ 意味：接触禁止 ○ 意味：分解禁止

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

△ 危険



● カメラを分解、修理、改造しないでください。内部には高圧電流回路があり、感電する危険があります。

● 電池を分解、改造、直接ハンダ付けしたりしないでください。



● 電池を火の中に投入したり、加熱したり、火のそばや車の中など温度が高くなる場所で使用したり、放置しないでください。また、水や海水などにつけたり、濡らさないでください。

● 電池に釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、落下させたり、強い衝撃を与えないでください。

● 外傷、変形の著しい電池は使用しないでください。

● 電池の(+)と(-)を針金等の金属で接続しないでください。また、金属製のボールペンやネックレスなどと一緒に携帯したり、保管しないでください。

● 異臭、発煙、過熱などの異常が発生したときは、すぐに使用をやめてください。修理は、当社修理受付窓口またはお買い上げの販売店にご依頼ください。



- 電池は、カメラもしくは別売りのバッテリー充電器 BJ-12 で充電してください。また、弊社の DB-120 対応デジタルカメラ以外にはご使用にならないでください。
- 電池が漏液して液が目に入ったときには、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 警告



- 万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態がみられる場合は、すぐに電源を切ってください。感電や火傷に注意しながら速やかに電池を取り外してください。家庭用コンセントから電源を供給しているときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そして当社修理受付窓口またはお買い上げの販売店に連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けないでください。
- 万一、機械内部に異物（金属、水、液体など）が入った場合は、すぐに電源を切ってください。感電や火傷に注意しながら速やかに電池とメモリーカードを取り出してください。家庭用コンセントから電源を供給しているときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そして当社修理受付窓口またはお買い上げの販売店に連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けないでください。
- 画像モニターが破損した場合、中の液晶には十分注意してください。万一、次の状況になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。
 - ・ 皮膚に付着した場合は、付着物を拭き取り、水を流しせっけんでよく洗浄してください。
 - ・ 目に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分洗浄した後、医師の診断を受けてください。
 - ・ 飲み込んだ場合は、水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を与えて吐き出させた後、医師の手当てを受けてください。
- この製品で使用している電池やメモリーカードを誤って飲み込むことがないよう、特に幼児・子供の手の届かないところに置いてください。万一飲み込んだ場合は、人体に有害です。直ちに医師と相談してください。

●電池の液漏れ、発熱、発火、破裂の防止のため、次のことをお守りください。

- ・この製品で指定している電池以外は、使用しないでください。
- ・金属製のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。
- ・電子レンジや高圧容器に入れないでください。
- ・使用中や充電中、液漏れしたり、異臭がする、変色するなどの異常がある場合は、直ちにカメラや充電器から取り外し、火気から遠ざけてください。

●電池の充電による火災、感電、破裂の防止のため、次のことをお守りください。

- ・表示された電源電圧以外の電圧を使用しないでください。また、タコ足配線や延長コードの使用は避けてください。

●電池は幼児の手の届く場所に置かないでください。



●充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。

●電池が漏液したり異臭がするときには直ちに火気より遠ざけてください。

●この製品を幼児・子供の手の届く範囲に放置しないでください。幼児・子供には「安全上のご注意」や「使用上のご注意」の内容が理解できずに事故発生の原因となります。

●引火性ガスやガソリン、ベンジン、シンナー等の近くで使用しないでください。爆発や火災、火傷の原因となります。

●航空機の中など、使用が制限または禁止されている場所では使用しないでください。事故等の原因となります。

●海外旅行者用として市販されている「電子式変圧器」などに充電器やACアダプターを接続しないでください。火災・感電・故障の原因になります。

●表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になります。

●落下や損傷により内部が露出したときは、内部には手を触れないでください。内部には高圧電流回路があり、感電する危険性があります。感電や火傷に注意しながら速やかに電池を取り出してください。破損したときは、当社修理受付窓口またはお買い上げの販売店に連絡してください。



●雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



●万一、機械内部に異物（金属、水、液体など）が入った場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、当社修理受付窓口またはお買い上げの販売店に連絡してください。火災や感電の原因になります。

●使用中に異常な音がするとき、煙が出るときなどの不具合がある場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いて当社修理受付窓口またはお買い上げの販売店まで連絡してください。機器が故障したり、不具合のまま使用しないでください。



- 自分で分解しないでください。内部には高圧電流回路があり、感電する危険性があります。



- 台所などの湯煙や湿気の当たるところ、水気のあるところでは使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 風呂場では使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠ 注意



- 電池から漏れた液が肌に触れると、火傷の原因になります。破損した電池に触れた場合は、すぐに水で洗い流してください。(せっけんは使用しないでください)
また、液漏れが起こったときは、液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。



- カメラを濡らさないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。
- 車両（自転車、車、列車等）の運転者に向けてフラッシュを発光しないでください。交通事故等の原因となります。
- 布などに包んで使用しないでください。火災の原因になります。
- 端子部の金属部をショートさせないでください。火災の原因になります。
- 台所などの油煙や湿気の当たるところ、水気のあるところでは使用しないでください。火災や感電の原因になります。



- お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

別売り品について

別売り品をお使いになるときには、各製品の使用説明書を操作の前に必ずお読みください。



メモ

- ・カメラの梱包に使用されている袋は、環境に優しい「竹」素材のものを使用しています。カメラに梱包材の粉などが付着した場合は、市販のプロアーやクリーニングペーパーなどで取り除いてからお使いください。

もくじ

はじめに	1
お客様登録のお願い	1
安全上のご注意	5
1 基礎知識	13
同梱品を確認しましょう	13
各部の名称と機能	14
ボタン／ダイヤル	16
画像モニターの表示	18
撮影画面	18
再生画面	19
画面表示の切り替え	20
タッチパネルの操作	21
機能の設定方法	22
ボタン／ダイヤルで設定する	22
メニューで設定する	25
メニュー一覧	28
▣ 静止画設定メニュー	28
■ 動画設定メニュー	31
▣ 再生設定メニュー	32
C カスタマイズ設定メニュー	34
ㄟ セットアップメニュー	37
2 準備しましょう	40
バッテリーとメモリーカードのセット	40
バッテリーとメモリーカードをセットする	40
バッテリーを充電する	42
初期設定	44
電源を入れる	44
言語／スマートフォン連携／日時を設定する	45
メモリーカードをフォーマットする	46
撮影のキホン	48
プログラムモードで撮影する	48
撮影した画像を確認する	50

静止画を撮影する.....	52
露出モードを設定する	52
動画を撮影する.....	58
動画を再生する.....	60
フォーカスを設定する	61
フォーカスマードを設定する	61
接写する（マクロ）	66
シャッターボタンをいっきに押して撮影する（フルプレススナップ）	67
露出を設定する.....	68
測光方法を選択する	68
ISO 感度を設定する.....	70
フラッシュを使用する	71
ノイズを低減する	74
ドライブモードを設定する	76
連続して撮影する（連続撮影）.....	77
露出を変化させて撮影する（ブラケット撮影）	78
画像を合成しながら撮影する（多重露出）	79
一定間隔で自動撮影する（インターバル撮影）	81
星の光跡などを記録する（インターバル合成）	83
セルフタイマーを使用する	85
記録方法を設定する	86
記録先を設定する	86
静止画の記録設定	87
動画の記録設定.....	88
画像仕上げと補正の設定	89
モアレを低減させる（ローパスセレクター）	89
赤色フィルターを利用する	89
写真の雰囲気を決めて撮影する（イメージコントロール）	90
周辺光量を補正する	92
階調を補正する（ダイナミックレンジ補正）	92
手ぶれを補正する	93
傾きを補正する.....	93

再生機能を選択する	94
再生方法を変更する	95
複数画像を表示する	95
画像を回転して表示する	96
AV 機器と接続する	97
ファイルを整理する	98
消去する	98
プロテクトを設定する	100
画像をコピーする	102
転送予約を設定する	104
画像を加工／編集する	106
RAW 画像を現像する	106
画像サイズを変更する	109
ハイライト／シャドーを補正する（レベル補正）	111
画質を調整する	113
動画を編集する	114

パソコンで利用する	116
通信端末で利用する	117
通信端末と接続する	118
連携する機能を設定する	121

よく使う設定値を登録する	122
現在の設定を登録する	122
セッティングボックスを利用する	124
USER モードを利用する	126
ボタンをカスタマイズする	127
露出モードのダイヤル操作を変更する	127
ADJ モードに機能を登録する	127
Fn ボタンの機能を変更する	129
シャッターボタンの動作を設定する	132
カメラに保存する設定を選択する	133

表示と音の設定.....	134
撮影時／再生時の表示情報を設定する.....	134
クイックビューの表示を設定する.....	135
ライブビューの表示を設定する.....	136
画像モニターの明るさと色みを設定する.....	136
ランプを設定する.....	137
電子音を設定する.....	138
省電力の設定.....	139
自動的に電源をオフにする.....	139
画像モニターの輝度を落とす.....	140
画像管理に関する設定.....	141
フォルダー／ファイルを設定する.....	141
著作権情報を設定する.....	146
7 付録	148
別売り品の取り付け	148
コンバージョンレンズ／レンズアダプター	148
困ったときは.....	149
電源	149
撮影	150
再生／削除	153
その他	154
エラーメッセージ	155
主な仕様.....	158
カメラ本体	158
充電式バッテリー DB-120	164
記録可能枚数／時間	164
動作環境	166
海外でお使いのときは	167
使用上のご注意.....	168
お手入れと使用／保管場所について	170
アフターサービスについて	171
索引	173
GR SPACE TOKYO	177

■ 同梱品を確認しましょう

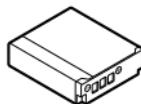
パッケージを開けたら同梱品を確認してください。



RICOH GR IV
Monochrome



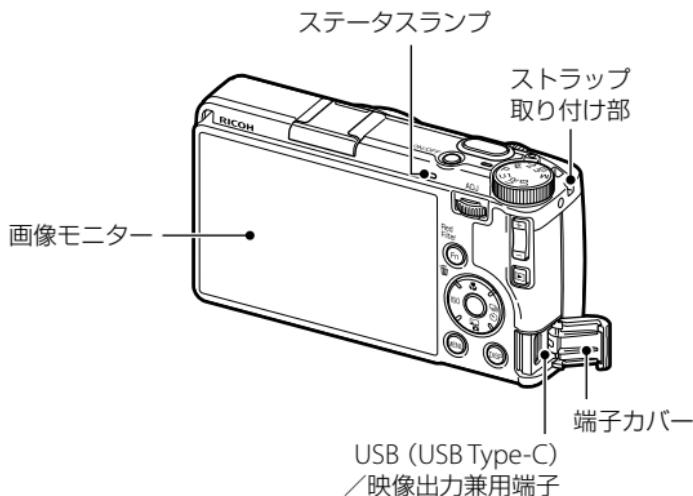
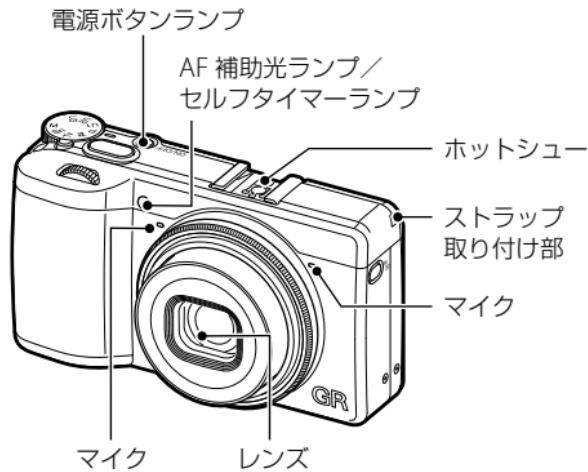
ホットシューカバー
(カメラ装着)

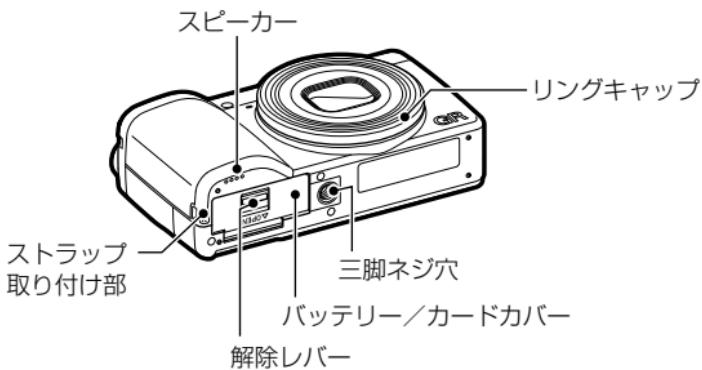


充電式バッテリー
(DB-120)

- USB ケーブル (I-USB198)
- ハンドストラップ
- スタートガイド

各部の名称と機能



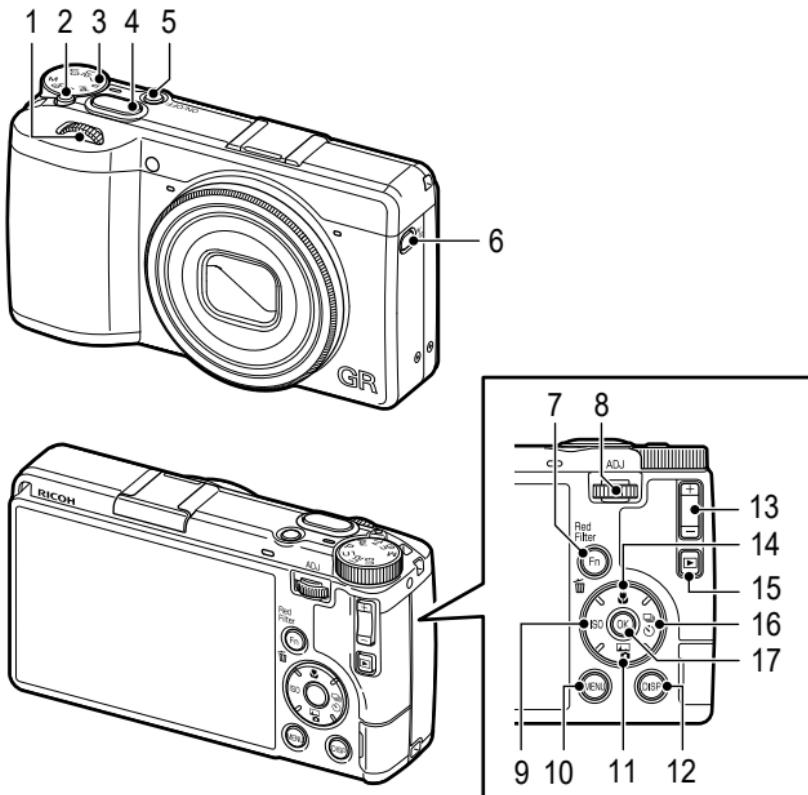


ボタン／ダイヤル

ボタン・ダイヤルの機能を説明します。
本書では（ ）内のアイコンで説明しています。

1

基礎知識



1 前電子ダイヤル（ \circlearrowleft ）

ダイヤルを回して露出などの設定値を変更します。(p.52)

再生モードでは、拡大表示を行います。(p.50)

メニュー表示中や画像選択中は、カーソルを上下に移動します。

2 ロックボタン

モードダイヤルを回すときに押します。

3 モードダイヤル

露出モードを切り替えます。(p.52)

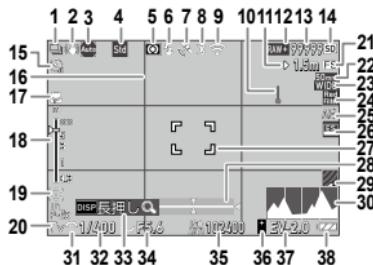
- 4 シャッターボタン (SHUTTER)**
画像を撮影します。半押しでAFが作動します。(p.48)
- 5 電源ボタン**
電源のオン／オフを切り替えます。(p.44)
- 6 動画／記録先メモリー切替ボタン (口 / $\frac{1}{10}$)**
静止画モード／動画モードを切り替えます。(p.58)
長押しすると、記録先メモリーを切り替えます。(p.41)
- 7 Fn / 消去ボタン (Fn / )**
登録した機能を呼び出します。(p.23) 初期設定では [赤色フィルター] が動作します。(p.89)
再生モードでは画像を消去します。(p.50)
- 8 ADJ / 後電子ダイヤル (ADJ / )**
ダイヤルを回して露出などの設定値を変更します。(p.52)
撮影モードでダイヤルを押し込むと、ADJ モードになります。(p.24)
メニュー表示中や画像選択中はカーソルを左右に移動したり、押し込んで選択項目を決定します。
- 9 ISO / 左ボタン (ISO / )**
ISO 感度を変更するときに押します。(p.70)
項目を選択中はカーソルを左に移動します。
- 10 MENU ボタン (MENU)**
メニューを表示します。メニュー表示中に押すと、1つ前の画面に戻ります。(p.25)
- 11 イメージコントロール／下ボタン (■ / ▼)**
イメージコントロールの設定画面を表示します。(p.90)
項目を選択中はカーソルを下に移動します。
- 12 DISP ボタン (DISP)**
撮影情報または再生情報の表示を切り替えます。(p.20)
撮影モードで長押しすると、ライブビューが拡大表示されます。(p.49)
- 13 露出補正ボタン (■)**
露出補正を行います。(p.52)
再生モードでは、表示の切り替えを行います。(p.95)
メニュー表示中はカーソルを上下に移動したり、値の設定を増減したりします。
- 14 マクロ／上ボタン (■ / ▲)**
マクロモードに切り替えます。(p.66)
項目を選択中はカーソルを上に移動します。
- 15 再生ボタン (■)**
撮影モード／再生モードを切り替えます。(p.50)
- 16 ドライブ／右ボタン (■ / ▶)**
ドライブモードの設定画面を表示します。(p.76)
項目を選択中はカーソルを右に移動します。
- 17 OK ボタン (OK)**
メニューなどの選択項目を決定します。

■ 画像モニターの表示

1

基礎知識

撮影画面



静止画



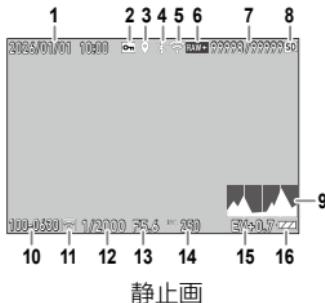
動画

- 1 ドライブ (p.76)
- 2 Shake Reduction / Movie SR (p.93) / 自動水平補正 (p.93)
- 3 フォーカスモード (p.61)
- 4 イメージコントロール (p.90)
- 5 測光モード (p.68)
- 6 フラッシュモード (p.72)
- 7 GPS 受信状態 (p.121) *
- 8 Bluetooth® 通信 (p.118)
- 9 無線 LAN 通信 (p.118) / 機内モード (p.120)
- 10 温度警告
- 11 スナップ撮影距離 (p.61)
- 12 記録形式 / JPEG 記録サイズ (p.87)
- 13 残り記録枚数
- 14 記録先 (p.41)
- 15 セルフタイマー (p.85)
- 16 グリッド (p.134)
- 21 AWM 999999 SD
- 22 > 1.5m FS
- 23 WFM
- 24 WFM
- 25 WFM
- 26 WFM
- 27 WFM
- 28 WFM
- 29 WFM
- 30 WFM
- 31 1/400
- 32 F/8
- 33 1/1200
- 34 F/8
- 35 36 37
- 36 37
- 38
- 39
- 40

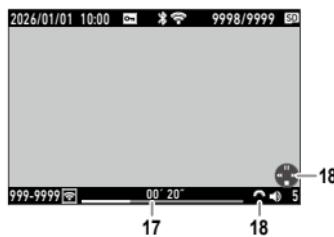
- 17 マクロモード (p.66)
- 18 フォーカスバー / 被写界深度 (p.65)
- 19 測距点移動優先 / ダイレクトキー優先 (p.64)
- 20 露出モード (p.52)
- 21 フルプレススナップ (p.67)
- 22 クロップ (p.88)
- 23 コンバージョンレンズ (p.148)
- 24 赤色フィルター (p.89)
- 25 AE ロック (p.54)
- 26 電子シャッター (p.57)
- 27 フォーカスフレーム (p.49)
- 28 電子水準器 (p.134)
- 29 ローパスセレクター (p.89)
- 30 ヒストグラム (p.134)
- 31 前電子ダイヤル
- 32 シャッター速度 (p.52)
- 33 操作ガイド
- 34 絞り値 (p.52)

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 35 ISO 感度 (p.70) | 38 バッテリー状態 (p.20) |
| 36 露出補正ボタン | 39 動画記録中 |
| 37 露出インジケーター／露出補正 (p.52) | 40 記録時間／残り記録時間 |

再生画面



静止画



動画

- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| 1 撮影日時 | 10 フォルダー／ファイル番号
(p.141) |
| 2 プロテクト (p.100) | 11 画像転送状態 (p.104) |
| 3 GPS 情報 (p.121) | 12 シャッター速度 |
| 4 Bluetooth® 通信 (p.118) | 13 絞り値 |
| 5 無線 LAN 通信 (p.118) | 14 ISO 感度 |
| 6 記録形式／JPEG 記録サイズ
(p.87) | 15 露出補正 |
| 7 再生ファイル数／総ファイル
数 | 16 バッテリー状態 (p.20) |
| 8 再生元 (p.51) | 17 記録時間／経過時間 |
| 9 ヒストグラム (p.134) | 18 操作ガイド |



メモ

- 撮影画面 No.8 「GPS 受信状態」は、 6 メニュー [スマートフォン連携機能] の [位置情報の記録] を [オン] に設定して通信端末と連携すると表示されます。 (p.121)

バッテリー状態

バッテリーの残量によってアイコンの表示が変わります。

	残量が十分あります。
	残量が減り始めました。
	残量がわずかになりました。充電してください。
	まもなく電源が切れます。
	バッテリーが異常です。

画面表示の切り替え

DISP を押して、表示する情報を切り替えます。

撮影モード

撮影画面で表示情報を切り替えることができます。

標準情報表示	すべての情報を表示します。
簡易情報表示	露出の情報、AE ロック、AF 枠、MF 操作ガイドのみ表示します。
情報表示なし	設定値の変更時のみ情報を表示します。測距時は、AF 枠が表示されます。
画像モニターオフ	設定値の変更時のみ情報を表示し、AF 枠やライブビューも表示しません。



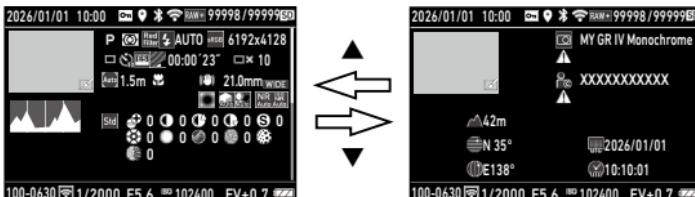
メモ

- **C3** メニュー [撮影時表示設定] で、表示する内容を指定できます。
(p.134)

再生モード

1 画像表示のときに、[標準情報表示] [詳細情報表示] [情報表示なし] に切り替えることができます。

[詳細情報表示] では、▲▼ または上下フリックでページを切り替えます。



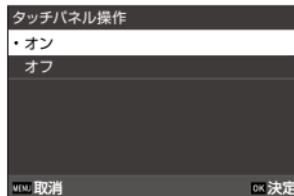
メモ

- C3 メニュー [再生時表示設定] で、表示する内容を指定できます。(p.134)
- 動画は、[ヒストグラム] [グリッド] [白とび警告] は表示されません。

タッチパネルの操作

機能の選択や撮影時の測距点の指定などで、画像モニターをタッチして操作ができます。

タッチパネルを使用しない場合は、C2 メニュー [タッチパネル操作] を [オフ] に設定します。



機能の設定方法

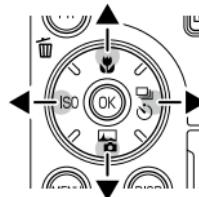
1

基礎知識

ボタン／ダイヤルで設定する

ダイレクトキーで設定する

撮影モードで **▲▼◀▶** を押すと、すぐに以下の機能が実行できます。



▲ (■)	マクロモード (p.66)
▼ (■)	イメージコントロール (p.90)
◀ (ISO)	ISO 感度設定 (p.70)
▶ (■)	ドライブモード (p.76)



メモ

- 上記の機能は、**MENU** を押して **■** メニューから設定することもできます。
- ▼ / ◀ / ▶ の機能は、**C2** メニュー [Fn ボタン設定] で変更できます。 (p.129)

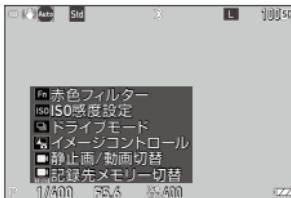
Fn ボタンで設定する

撮影モードで **Fn** を押すと、登録された機能が実行できます。初期設定では「赤色フィルター」が動作します。



メモ

- **Fn** の機能は、**C2** メニュー [Fn ボタン設定] で変更できます。(p.129)
- 電源をオンにしたときやモードダイヤルを回したときに、現在のボタンの機能が3秒間表示されます。**C2** メニュー [ガイド表示] を [オフ] に設定すると、表示されません。

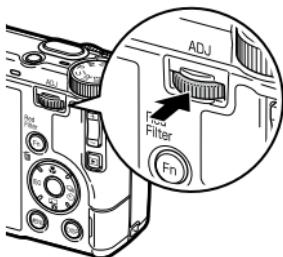


ADJ モードで設定する

撮影モードで **ADJ** (⌚) を押し込むと、登録された機能が簡単に呼び出せます。

1 撮影モードで **ADJ** を押す

ADJ モードになり、登録されている機能のアイコンが表示されます。



2 ◀▶ で機能を選択する

初期設定では、以下の機能が選択できます。

- ・イメージコントロール (p.90)
- ・フォーカス (p.61)
- ・測光モード (p.68)
- ・記録形式 (p.87) (■モード時はフレームレート)
- ・アスペクト比 (p.87) (■モード時はアウトドアモニター)



3 ▲▼ で値を選択する

詳細設定が必要な場合は、**Fn** を押します。

4 **OK** を押す

選択した機能が設定され、撮影できる状態になります。

◆ メモ

- ・ADJ モードの機能は、**C2** メニュー [ADJ モード設定] で変更できます。 (p.127)
- ・**C2** メニュー [シャッターボタン確定] を [オン] に設定すると、**SHUTTER** 半押しで ADJ モードの設定が終了します。 (p.132)

メニューで設定する

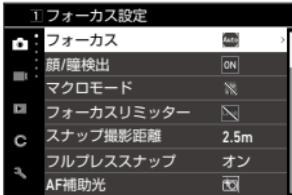
ほとんどの機能はメニューで設定します。

1 電源をオンにする

「電源を入れる」(p.44) を参照してください。

2 MENU を押す

 1 メニューが表示されます。



3 メニューの種類を変更するときは、 ◀を2回押してから ▲▼で切り替える

▲▼は ≪、◀▷は ≫ でも操作できます。



	静止画設定メニュー (p.28)
	動画設定メニュー (p.31)
	再生設定メニュー (p.32)
	カスタマイズ設定メニュー (p.34)
	セットアップメニュー (p.37)

4 ▶を2回押す

5 ▲▼で機能を選択する

選択したメニューによって、1～11の項目に分かれています。

□でページ送りができます。

項目ごとに選択する場合は、◀を押してから、▲▼で選択します。



6 設定する機能が見つかったら、▶を押す

選択した機能の設定値が表示されます。



7 ▲▼で設定値を選択し、OKまたはADJを押す

手順 5 の画面に戻ります。

MENU を押すと、1つ前の画面に戻ります。

設定が終わったら **MENU** を何回か押して、元の画面に戻します。



メモ

- **MENU** を押すと、直前に操作したメニューの画面が最初に表示されます。そのときの状態に応じたメニューを表示したいときは、**2メニュー** [メニュー選択位置保持] を [オフ] に設定します。

設定を初期化する

設定した値は、電源を切っても保存されています。設定を初期化する場合は、以下の操作を行います。

1 **211** メニュー [初期化] を選択し、▶を押す

2 [設定初期化] [出荷時初期化] を選択し、▶を押す

[設定初期化] を選択した場合は、次の手順に進みます。

[出荷時初期化] は、すべての機能が工場出荷時の設定に初期化され、内蔵メモリーに記録されていた画像も消去されます。手順 7 に進みます。

3 ▶ を押す

[初期化項目] 画面が表示されます。



4 ADJ を押して、オン／オフを切り替える

オフにしたメニューは初期化されません。

5 OK を押す

手順 3 の画面に戻ります。

6 [初期化実行] を選択し、OK を押す

7 [実行] を選択し、OK を押す

選択したメニューが初期化されます。



メモ

- 電源を切ったときに設定を保存するか初期設定に戻すかを、機能ごとに選択できます。C2 メニュー [モードメモリ] で設定します。(p.133)

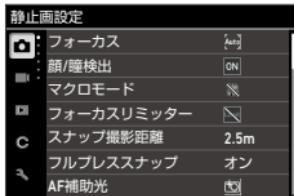
メニュー一覧

以下のメニューがあります。(下線・[] は初期設定)

1

基礎知識

静止画設定メニュー



1 フォーカス設定

フォーカス	オートエリア AE、ゾーンセレクト AF、セレクト AF、ピンポイント AF、追尾 AF、コンティニュアス AF、MF、スナップ、 <u>∞</u>	p.61
顔 / 瞳検出	<u>オン</u> 、オートエリア AF のみ、オフ	p.63
マクロモード	オン、 <u>オフ</u>	p.66
フォーカスリミッター	近距離側、遠距離側、 <u>オフ</u>	p.63
スナップ撮影距離	0.3m、1m、1.5m、2m、 <u>2.5m</u> 、3.5m、 5m、 <u>∞</u>	p.61
フルプレススナップ	<u>オン</u> 、オフ	p.67
AF 補助光	<u>オン</u> 、オフ	p.62
フォーカスアシスト	<u>オン</u> 、 <u>オフ</u>	p.62
コンティニュアス AF 動作	フォーカス優先、コマ速優先	p.61
MF 時の自動拡大表示	オン、 <u>オフ</u>	p.65

■2 露出設定		
露出モード切替	プログラム AE、絞り優先 AE、シャッター優先 AE、スナップ距離優先 AE、マニュアル露出	p.126
測光モード	分割、中央重点、スポット、ハイライト重点	p.68
ISO 感度設定	ISO 感度設定： <u>AUTO</u> 、160～409600 ISO 感度オート上限値：下限感度より 1 つ高い感度～最高感度 [25600] ISO 感度オート下限値：最低感度～上限感度より 1 つ低い感度 [160] 低速限界値：1 秒～1/1000 秒 [1/30]	p.70
フラッシュモード	フラッシュモード： <u>強制発光</u> 、赤目軽減 強制発光、スローシンクロ、赤目軽減スローシンクロ フラッシュ発光量： <u>AUTO</u> 、1/1、1/4	p.72
プログラムライン	<u>ノーマル</u> 、深度優先（浅い）、深度優先（深い）	p.55
連動外の自動補正	オン、 <u>オフ</u>	p.54
測距点と露出の関連付け	オン、 <u>オフ</u>	p.69

■3 撮影設定

静止画 / 動画切替	静止画、動画	p.58
ドライブモード	ドライブ： <u>1コマ撮影</u> 、連続撮影、ブラケット撮影、多重露出、インターバル撮影、インターバル合成 セルフタイマー：10 秒、2 秒、 <u>オフ</u>	p.76
電子シャッター	高速時のみ使用する、 <u>使用しない</u>	p.57
ローパスセレクター	強、弱、 <u>オフ</u>	p.89
赤色フィルター	オン、 <u>オフ</u>	p.89

■4 記録設定

撮影メモリー設定	内蔵メモリー優先、 <u>メモリーカード優先</u>	p.86
記録形式	<u>JPEG</u> 、RAW、RAW+JPEG	p.87
アスペクト比	<u>3:2</u> 、4:3、1:1、16:9	
クロップ	<u>オフ</u> 、35mm、50mm	
JPEG 記録サイズ	<u>L</u> 、M、S、XS	
色空間	<u>sRGB</u> 、AdobeRGB	

■5 画像仕上設定

イメージコントロール	<u>スタンダード</u> 、ソリッド、ソフト、ハイコントラスト、グレイン、HDR調、カスタム1～3	p.90
周辺光量補正	<u>オン</u> 、 <u>オフ</u>	p.92
ダイナミックレンジ補正	ハイライト補正： <u>オート</u> 、 <u>オン</u> 、 <u>オフ</u> シャドー補正： <u>オート</u> 、弱、中、強、 <u>オフ</u>	p.92
ノイズリダクション	長秒時ノイズ低減： <u>オート</u> 、 <u>オン</u> 、 <u>オフ</u> 高感度ノイズ低減： <u>オート</u> 、弱、中、強、カスタム、 <u>オフ</u>	p.74

■6 撮影補助

Shake Reduction	<u>オン</u> 、 <u>オフ</u>	p.93
SRの自動オフ	自動オフする、自動オフしない	p.93
自動水平補正	<u>オン</u> 、 <u>オフ</u>	p.93

■動画設定メニュー

動画設定	
■	フォーカス AF
■	マクロモード <input checked="" type="checkbox"/>
■	フォーカスリミッター <input checked="" type="checkbox"/>
■	スナップ撮影距離 2.5m
C	フォーカスアシスト <input checked="" type="checkbox"/>
▲	MF時の自動拡大表示 オフ
▼	測光モード <input checked="" type="checkbox"/>

■1 フォーカス設定

フォーカス	AF、MF、スナップ、∞	p.61
マクロモード	オン、オフ	p.66
フォーカスリミッター	近距離側、遠距離側、オフ	p.63
スナップ撮影距離	0.3m、1m、1.5m、2m、2.5m、3.5m、5m、∞	p.61
フォーカスアシスト	オン、オフ	p.62
MF時の自動拡大表示	オン、オフ	p.65

■2 露出設定

測光モード	分割、中央重点、スポット、ハイライト 重点	p.68
-------	--------------------------	------

■3 撮影設定

静止画 / 動画切替	静止画、動画	p.58
赤色フィルター	オン、オフ	p.89

■4 記録設定

撮影メモリー設定	内蔵メモリー優先、メモリーカード優先	p.86
フレームレート	60p、30p、24p	p.88
音声記録	オン、オフ	

■ 5 画像仕上設定

イメージコントロール	スタンダード、ソリッド、ハイコントラスト、カスタム1～3	p.90
周辺光量補正	オン、オフ	p.92
ダイナミックレンジ補正	ハイライト補正：オート、オフ シャドー補正：オート、弱、中、強、オフ	p.92

■ 6 撮影補助

Movie SR	オン、オフ	p.93
----------	-------	------

■ 再生設定メニュー



■ 1 再生設定

再生メモリー選択	内蔵メモリー、 <u>メモリーカード</u>	p.51
画像の自動回転	オン、オフ	p.96
再生順序設定	ファイル番号、撮影日時	p.96
再生音量	0～20 [10]	p.60

■ 2 ファイル操作

消去	1 画像消去、全画像消去	p.98
プロテクト	1 画像プロテクト、全画像プロテクト	p.100
回転	左 90°、180°、右 90°	p.96
コピー	1 画像コピー、全画像コピー	p.102
転送	1 画像転送	p.104

■ 3 画像編集

RAW 現像	JPEG 記録サイズ、アスペクト比、色空間、イメージコントロール、周辺光量補正、増減感、高感度ノイズ低減、シャドー補正	p.106
リサイズ	—	p.109
トリミング	—	p.110
レベル補正	—	p.111
JPEG 画質調整	明るさ、調色、コントラスト、シャープネス	p.113
動画編集	切り出し、分割	p.114

C カスタマイズ設定メニュー

1

基礎知識

カスタマイズ設定	
<input type="checkbox"/>	USERモードダイヤル登録
<input type="checkbox"/>	USERモードBOX保存
<input type="checkbox"/>	USERモードBOX呼び出し
<input type="checkbox"/>	USERモード名称変更
<input checked="" type="checkbox"/>	USERモード登録消去
<input type="checkbox"/>	露出設定
<input type="checkbox"/>	ADJモード設定

C 1 USER モード

USER モードダイヤル登録	—	p.122
USER モード BOX 保存	—	p.124
USER モード BOX 呼び出し	—	p.125
USER モード名称変更	—	p.123
USER モード登録消去	—	p.123

C 2 操作カスタマイズ

露出設定	P、Av、Tv、Sn、M	p.127
ADJ モード設定	オフ、 <u>フォーカス</u> [設定 2]、 <u>フォーカス</u> リミッター、 <u>スナップ撮影距離</u> 、 <u>記録形式</u> [設定 4]、 <u>アスペクト比</u> [設定 5]、 <u>クロップ</u> 、 <u>JPEG 記録サイズ</u> 、 <u>測光モード</u> [設定 3]、 <u>ISO 感度設定</u> 、 <u>フラッシュモード</u> 、 <u>フラッシュ発光量</u> 、 <u>ライブ</u> 、 <u>セルフタイマー</u> 、 <u>イメージコントロール</u> [設定 1]、 <u>M モード</u> <u>ワンプッシュ AE</u> 、 <u>タッチ AF</u> 、 <u>アウトドアモニター</u> 、 <u>フレームレート</u>	p.127

Fn ボタン設定	オフ、フォーカス、MF 切替、スナップ切替、追尾 AF 切替、AF 作動、AF 作動 +AE ロック、AE ロック、顔 / 瞳検出、フォーカスリミッター、スナップ撮影距離、 <u>記録先メモリ一切替</u> [動画ボタン長押し]、記録形式、JPEG → RAW、JPEG → RAW+、アスペクト比、クロップ、JPEG 記録サイズ、フレームレート、 <u>静止画/動画切替</u> [動画ボタン]、測光モード、 <u>ISO 感度設定</u> [ISO ボタン]、フラッシュモード、フラッシュ発光量、 <u>ドライブモード</u> [ドライブボタン]、ドライブ、連続撮影、セルフタイマー、赤色フィルター [Fn ボタン]、 <u>イメージコントロール</u> [イメージコントロールボタン]、Shake Reduction、M モードワンプッシュ AE、十字キー動作切替、タッチ AF、アウトドアモニター、スリープ作動、機内モード、プレビュー フォーカス設定： <u>シャッターボタンと同じ</u> 、オートエリア AF、ゾーンセレクト AF、セレクト AF、ピンポイント AF、追尾 AF、コンティニュアス AF AE ロック維持：オン、 <u>オフ</u> M モードワンプッシュ AE：プログラム AE、絞り優先 AE、シャッター優先 AE	p.129
シャッターボタン設定	<u>AF 作動 +AE ロック</u> 、AE ロック、AF 作動	p.132
十字キー優先動作	<u>ダイレクトキー優先</u> 、測距点移動優先	p.64
シャッターボタン確定	オン、 <u>オフ</u>	p.132
タッチパネル操作	オン、オフ	p.21
タッチ AF	測距点移動、測距点移動 +AF、測距点移動 +AF+撮影、フルプレススナップ、オフ	p.55

モードメモリ	ISO 感度設定、露出補正、プログラムオート Ex、フォーカス、マクロモード、フォーカスリミッター、フォーカスアシスト、測光モード、フラッシュモード、フラッシュ発光量、静止画／動画切替、ドライブ、セルフタイマー、ローパスセレクター、赤色フィルター、アスペクト比、クロップ、イメージコントロール、ADJ モード設定、撮影時表示設定、再生時表示設定、再生対象画像、アウトドアモニター	p.133
--------	---	-------

C3 表示カスタマイズ

撮影時表示設定	標準情報表示、簡易情報表示、情報表示なし、画像モニターオフ	p.134
再生時表示設定	標準情報表示、情報表示なし	
クイックビュー	表示時間： <u>0.5 秒</u> 、1 秒、2 秒、3 秒、 HOLD、オフ 拡大表示：オン、 <u>オフ</u> 消去：オン、 <u>オフ</u>	p.135
クイック拡大	x4、x8、x16、 <u>100%</u>	
測距位置拡大	オン、オフ	p.51
グリッドの種類	9 分割、16 分割	
電子水準器の種類	<u>水平 + アオリ</u> 、水平	p.136
電子水準器のデザイン	Type1、Type2、Type3	
フリッカー低減	50Hz、60Hz	

メニュー

セットアップ		
□	フォーマット	
■	フォルダー新規作成	
■	フォルダーネ名	RICOH
■	ファイル名	R0
C	連番設定	
■	連番リセット	
■	著作権情報	

1 ファイル設定

フォーマット	メモリーカード、内蔵メモリー	p.46
フォルダー新規作成	—	p.141
フォルダーネ名	フォルダーネ名：日付、 <u>任意</u> 任意文字入力 [RICOH]	p.142
ファイル名	静止画：任意の 2 文字 [R0] 動画：任意の 2 文字 [R0]	p.144
連番設定	フォルダー & ファイル、ファイル、オフ	p.145
連番リセット	—	p.145
著作権情報	著作権情報の添付：オン、 <u>オフ</u> 著作権者名：任意の 32 文字	p.146

2 表示設定

メニュー選択位置保持	オン、オフ	p.26
ガイド表示	オン、オフ	p.23
再生アニメーション	オン、オフ	p.51
終了画面	Type1、Type2	p.44

3 画像モニター設定

画像モニター設定	明るさ：-7 ~ +7 彩度：-7 ~ +7 ブルー / アンバー調整：-7 ~ +7 グリーン / マゼンタ調整：-7 ~ +7	p.136
アウトドアモニター	オート、+2、+1、OFF、-1、-2	p.137

4 発光部設定

電源ボタンランプ	オン、オフ	p.137
カウントダウン	オン、オフ	

5 電子音設定

電子音	すべて鳴らす、シャッター音のみ鳴らす	p.138
音量	0 ~ 3 [2]	

6 無線通信

無線通信設定	動作モード：オン、 <u>オフ</u> ペアリング：ペアリング実行、ペアリング済み機器 通信情報	p.118
機内モード	オン、 <u>オフ</u>	p.120
スマートフォン連携機能	位置情報の記録：オン、 <u>オフ</u> 自動画像転送：自動画像転送、転送ファイル形式 オートリサイズ：オン、 <u>オフ</u> 電源オフ時の画像転送：オン、 <u>オフ</u>	p.121
USB 設定	画像表示、ライセンス表示	p.117

7 電源設定

オートパワーオフ	1分、3分、5分、10分、30分、オフ	p.139
スリープ	3秒、10秒、 <u>30秒</u> 、1分、3分、5分、10分、 30分、オフ	
画像モニター節電	オン、オフ	

8 情報表示

カメラ情報	—	—
認証マーク	—	p.3

¶ 9 撮像素子メンテナンス

ピクセルマッピング	—	p.153
ダストリムーバル	ダストリムーバル実行 起動時の作動： <u>オン</u> 、オフ 終了時の作動： <u>オン</u> 、オフ	p.153

¶ 10 言語・日時設定

Language/言語	英語、日本語	p.45
日時設定	表示スタイル： <u>Y/M/D</u> 、D/M/Y、M/D/Y 日付： <u>2026年1月1日</u> ～ <u>2075年12月31日</u> 時刻： <u>00:00</u> ～ <u>23:59</u>	p.46

¶ 11 初期化

初期化	設定初期化：初期化項目、初期化実行 出荷時初期化	p.26
-----	-----------------------------	------

■ バッテリーとメモリーカードのセット

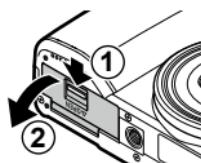
バッテリーとメモリーカードをセットする

本カメラは、内蔵メモリーに画像を記録できます。

メモリーカードを使用する場合は、市販の microSD メモリーカード／microSDHC メモリーカード／microSDXC メモリーカードが使用できます。本書では、これらのカードを「メモリーカード」と表記します。

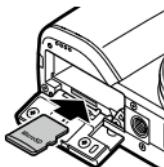
1 カメラの電源がオフになっていることを確認する

2 カメラ底面の解除レバーを「OPEN」側にスライドさせ、バッテリー／カードカバーを開ける



3 メモリーカードをセットする場合は メモリーカードの向きに注意し、「カチッ」と音がするまでメモリーカードを奥へ挿入する

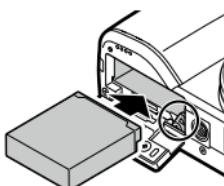
取り出すときは、メモリーカードを押し込んで手を放します。



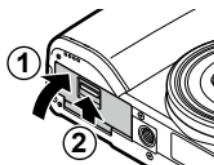
4 バッテリーを挿入する

バッテリー側面でツメを押しながら奥まで入れます。

取り出すときは、ツメを横にずらします。



- 5** バッテリー／カードカバーを閉じ、解除レバーを「OPEN」 と反対側にスライドさせてロックする



データの記録先

■4 / ■■4 メニュー [撮影メモリー設定] に従ってデータが記録されます。

撮影前に □ (■_{SD}) を長押しすると、記録先が切り替わります。

記録先は、画像モニター右上で確認できます。



注意

- microSD カードの端子を、手や指で直接触らないようにしてください。

メモ

- メモリーカードをセットしている場合は、データの記録方法を設定できます。(p.86)
- 内蔵メモリーとメモリーカード間で画像をコピーできます。(p.102)
- 記録可能枚数／時間は、メモリーカードの容量によって異なります。(p.164)

バッテリーを充電する

付属の充電式バッテリー (DB-120) は、使用する前に充電してください。

以下のいずれかの方法で充電します。

バッテリー充電器を使用する

別売りのバッテリー充電器 (BJ-12) をご用意いただき、充電します。充電方法は、バッテリー充電器の使用説明書を参照してください。

AC アダプターを使用する

市販の USB Power Delivery 対応 AC アダプターと付属の USB ケーブル (I-USB198) を接続するか、別売りの AC アダプター (K-AC166J) を使用して充電します。



メモ

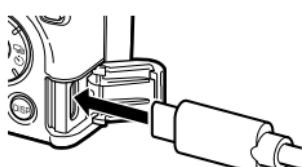
- 市販の USB Power Delivery 対応 AC アダプターまたは別売りの AC アダプター (K-AC166J) を接続した場合は、カメラの電源をオンにすると、AC アダプターからの給電で撮影や再生ができます。
- 本カメラは USB Power Delivery と互換性がありますが、USB Implementers Forum のロゴ認証には対応していません。

パソコンを使用する

付属の USB ケーブル (I-USB198) と USB Type-C ポートを搭載したパソコンで充電します。

1 カメラの電源をオフにする

2 端子カバーを開き、USB 端子に USB ケーブルを接続する



3 USB ケーブルをパソコンの USB Type-C ポートに接続する

カメラの電源がオフになります。

4 電源ボタンを押し、カメラの電源をオフにする

カメラのステータスランプが点灯し、充電が始まります。
ステータスランプが消灯したら充電は終了です。

5 USB 端子から USB ケーブルを抜き、端子カバーを閉じる

注意

- 充電式バッテリーは、純正品（DB-120）を使用してください。
- 正しく充電しても使用できる時間が短くなった場合は、バッテリーの寿命です。その場合は、新しいバッテリーと交換してください。
- 使用直後のバッテリーは高温になることがあります。バッテリーの取り出しが、カメラの電源をオフにして温度が下がってから行ってください。
- 充電中にカメラの電源をオンにすると、充電が中断します。
- USB Power Delivery に対応していないパソコンを使用した場合は、充電に時間がかかることがあります。



記録可能枚数

- バッテリーフル充電時の記録可能枚数の目安は、約 250 枚です。
- 記録可能枚数は CIPA 規格に準拠した測定条件によるものです。（温度 23℃、画像モニターオン、30 秒ごとに撮影、10 枚撮影するごとに電源をオフ／オンを繰り返し）
- 記録可能枚数は目安です。長時間ご使用になる場合は、予備のバッテリーを用意することをお勧めします。

初期設定

電源を入れて初期設定をします。

電源を入れる

2

1 電源ボタンを押す

電源ボタンが点灯し、ステータスランプが数秒間点滅します。

はじめて電源を入れたときは、[Language/言語] 画面が表示されます。

再度電源ボタンを押すと、電源がオフになります。



再生モードで電源をオンにする-----

- 電源がオフの状態で **■** を長押しすると、再生モードで電源がオンになります。

このときは、以下の操作ができます。

■	電源オフ
SHUTTER 半押し	撮影モードに切り替え



メモ-----

- 電源ボタンのランプは、**▲4** メニュー [電源ボタンランプ] で [オフ] に設定できます。(p.137)
- 電源をオンにしてから約 1 分間(初期設定)操作しないと、バッテリーの消耗を抑えるため、自動的に電源がオフになります。省電力については、**▲7** メニューで設定します。(p.139)
- 電源をオフにしたときに、その日に記録した画像の枚数(消去画像を除く)、カメラを使い始めてから撮影した総画像数、カメラのファームウェアバージョンが表示されます。その日の記録枚数のみを表示する場合は、**▲2** メニュー [終了画面] で [Type1] に設定します。

言語／スマートフォン連携／日時を設定する

メニュー等の表示言語と日時を設定し、通信端末と Bluetooth® でペアリングします。

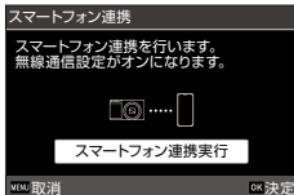
1 ▲▼で言語を選択して **OK** を押す

言語が設定され、[スマートフォン連携] 画面が表示されます。

通信端末と連携を行わない場合やあとで実行する場合は **MENU** を押し、手順 7 に進みます。

2 **OK** を押す

6 メニュー [無線通信設定] が [オン] に設定され、アプリインストールの案内画面が表示されます。



3 表示された二次元コードをスマートフォンなどの通信端末で読み取り、RICOH GR シリーズ専用アプリ「GR WORLD」を通信端末にインストールする



4 カメラで **OK** を押す

5 アプリを操作し、カメラを登録する

カメラと通信端末がペアリングされます。

6 カメラで **OK** を押す

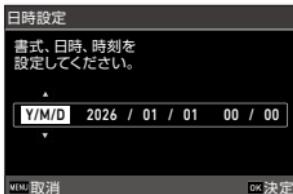
[日時設定] 画面が表示されます。



7 表示形式と日時を設定する

◀▶ で項目を移動し、▲▼ で数値を変更します。

MENU を押すと、設定がキャンセルされます。



8 OK を押す

日時が設定され、撮影できる状態になります。

◆ メモ

- ・バッテリーを取り出してから約 5 日間経過すると、設定した日時がリセットされます。日時を保持するためには、十分に残量のあるバッテリーを 2 時間以上セットしてからバッテリーを取り出してください。
- ・設定した言語と日時は、 10 メニューで変更できます。
- ・通信端末との連携をあとから実行する場合やアプリの機能の詳細は、「通信端末で利用する」(p.117) を参照してください。

メモリーカードをフォーマットする

新しいメモリーカードや他の機器で使用したメモリーカードを使用する場合は、本カメラでフォーマットを実行します。内蔵メモリーもフォーマットができます。

1 MENU を押す

メニューが表示されます。

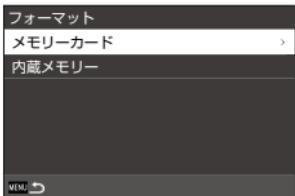
2 ◀ を 2 回押し、▲▼ で を選択する



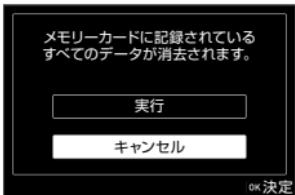
3 ▶を2回押して[フォーマット]を選択し、▶を押す



4 ▲▼で[メモリーカード][内蔵メモリー]を選択し、▶を押す 確認の画面が表示されます。



5 ▲で[実行]を選択し、OKを押す フォーマットが実行され、手順4の画面に戻ります。



6 MENUを2回押す 撮影画面に戻ります。

□ 注意-----

- ・フォーマット中は、絶対にメモリーカードを取り出さないでください。カードが破損することがあります。
- ・フォーマットを行うと、プロテクトされていた画像も含めて全データが消去されます。

◆ メモ-----

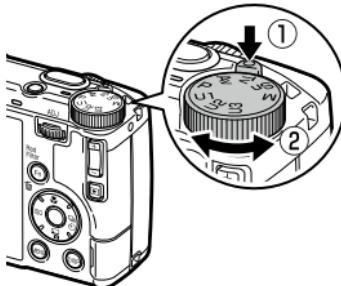
- ・フォーマットを行うと、メモリーカードに「RICOH GR」というボリュームラベルが付きます。

プログラムモードで撮影する

絞り値とシャッター速度が自動設定されるプログラム AE モードで撮影します。

- 1** ロックボタンを押しながらモードダイヤルを回し、P に合わせる

露出モードが [プログラム AE] になり、ライブビューが表示されます。



- 2** SHUTTER を半押しする

ピント合わせが行われ、露出が固定されます。

最大 25 点で測距し、ピントが合っている位置を緑の枠で表示します。



- 3** SHUTTER を全押しする

撮影した画像が画像モニターに表示（クイックビュー）され、記録されます。



ピントについて

- ピントの状態は、画像モニター中央の枠の色とステータスランプで確認できます。



ピントの状態	枠の色	ステータスランプ
ピント合わせ前	白	消灯
ピントが合ったとき	緑	点灯
ピントが合わなかったとき	赤	点滅



ライブビュー拡大

- ライブビューが表示されているときに、画像を拡大できます。
以下の操作ができます。

DISP 長押し	ライブビューを拡大表示
↖	拡大倍率を [x4] [x16] に切り替え
▲▼◀▶ /スライド	拡大表示エリアを移動
OK	全体表示に戻す

- モードで録画中は、拡大表示はできません。



メモ

- 撮影直後に画像を表示する [クイックビュー] の表示と操作は、
C3 メニューで設定します。(p.135)

撮影した画像を確認する

撮影した画像を順に確認してみましょう。

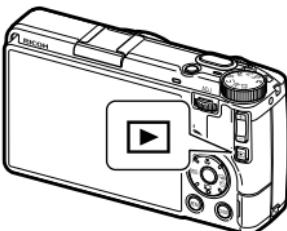
1 を押す

再生モードになり、最新の画像が表示されます。(1 画像表示)

2

準備
しま
しよ
う

2 画像を確認する



以下の操作ができます。

 /  / フリック	前後の画像を表示
	消去 (p.98)
 右 /  + / ピンチアウト	拡大表示
 - / ピンチイン	複数画像表示 (p.95) (拡大表示中) 縮小
	(拡大表示中) 表示倍率変更
  / スライド	(拡大表示中) 拡大表示エリアを移動
 + /  / ダブルタップ	C 3 メニュー [クイック拡大] で設定した倍率 [x4] [x8] [x16] [100%] に拡大 (p.135) (拡大表示中) 1 画像表示に戻る
	(拡大表示中) 倍率を維持したまま前後の画像を表示

 OK	(拡大表示中) 1 画像表示に戻る
 DISP	[標準情報表示] [詳細情報表示] [情報表示なし] 切り替え (拡大表示中) [標準情報表示] [情報表示なし] 切り替え
 /ロングタップ	再生機能選択画面を表示 (p.94)
 (IN%) 長押し	再生メモリー切り替え
 ビデオ	撮影モードに切り替え



メモ

- C3 メニュー [測距位置拡大] を [オン] (初期設定) に設定すると、撮影時の測距点を中心に拡大表示します。
- 動画は拡大表示はできません。
- タッチパネルのフリック操作で前後の画像に切り替えたときには、アニメーションが表示されます。A2 メニュー [再生アニメーション] で [オフ] に設定できます。

■ 静止画を撮影する

露出モードを設定する

絞り値またはシャッター速度を設定して撮影します。

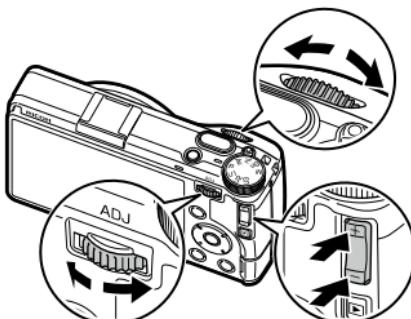
3

1 モードダイヤルを **P** / **Av** / **Tv** / **Sn** / **M** に合わせる

撮影画面に露出モードと設定対象の値が表示されます。



2 / / を操作して値を変更する



以下の値が変更できます。

露出モード	∞	∞	±
P プログラム AE	絞り値	シャッター速度	露出補正
Av 絞り優先 AE	絞り値	—	露出補正
Tv シャッター優先 AE	—	シャッター速度	露出補正
Sn スナップ距離優先 AE	スナップ撮影距離	被写界深度	露出補正
M マニュアル露出	絞り値	シャッター速度	(ISO AUTO 時) 露出補正 (ISO 感度固定値時) ISO 感度

露出補正は 1/3EV ステップで、± 5.0 (■モードは ± 2.0) の間で設定できます。

Sn モードでは、スナップ撮影距離と被写界深度が調整できます。フォーカスマードは [スナップ] (p.61) で動作し、被写界深度は 3 段階で選択できます。

M モードでは、露出インジケーターが表示されます。露出インジケーターが中央にあるときが適正露出の目安です。また露出値が ± 2 EV の範囲にあるときは、露出値に応じてインジケーターが変化します。その範囲を超えると、インジケーターが黄色になります。



3 撮影する



メモ

- **P** モードで絞り値またはシャッター速度を変更すると、一時的に **Av** / **Tv** モードに移行します（プログラムオートEx）。標準の設定に戻したいときは、ロックボタンを押します。また、露出モードを切り替えたり **■** モードに切り替えたときも、標準の設定に戻ります。
- **■** メニュー [連動外の自動補正] を [オン] に設定すると、**Av** / **Tv** モードで適正露出が得られないときに自動で補正します。
- **SHUTTER** 半押しで AF が作動して AE ロックされます。AE ロックのみを行うようにする場合は、**C2** メニュー [シャッターボタン設定] を [AE ロック] に設定します。（p.132）
- 各露出モードで \wedge / \vee / \bullet を操作したときの機能は変更できます。（p.127）



注意

- 撮影中は画像モニターに画像が表示されません。
- **M** モードで ISO 感度を固定値に設定しているときは、露出補正はできません。



AE ロック

- **SHUTTER** 半押しで AE がロックされ、放すと解除されます。
- **C2** メニュー [Fn ボタン設定] で [AF 作動 +AE ロック] [AE ロック] を設定して、**Fn** で AE ロックを行うこともできます。初期設定では、**Fn** に [AF 作動 +AE ロック] が設定されています。（p.129）

AF 作動 +AE ロック	フォーカスロックと同時に AE ロック ボタンを放すと AE ロック解除
AE ロック	AE ロックのみ C2 メニュー [Fn ボタン設定] の [AE ロック維持] を [オン] に設定すると、ボタン を放しても AE ロックを維持

- **M** モードで ISO 感度を固定値で設定しているとき、またはシャッター速度を B / T / BT に設定しているときは、AE ロックはできません。



タッチパネルでのAF-----

- 初期設定では、タッチパネルで測距点の移動だけができます。タッチパネルでAFや撮影も行いたいときは、**C2**メニュー【タッチAF】で設定します。



測距点移動	タッチしたところに測距点を移動
測距点移動+AF	タッチしたところに測距点を移動し、AFを行なう
測距点移動+AF+撮影	タッチしたところに測距点を移動し、AFを行なって撮影
フルプレススナップ	フルプレススナップ撮影を行なう
オフ	タッチAFを行わない

■ モードでタッチAFが有効なときは、【測距点移動+AF】で動作します。



プログラムライン-----

- C2**メニュー【プログラムライン】で、**P**モードのプログラムラインを【深度優先（浅い）】【深度優先（深い）】に設定できます。



被写界深度を確認する-----

- C2**メニュー【Fnボタン設定】の【動画ボタン長押し】を【プレビュー】に設定すると、プレビューが確認できます。（p.129）□を押し続けると、設定された絞り値まで絞りが動作して被写界深度が確認できます。□から指を放すと解除されます。
- プレビューの状態で、撮影や絞り値の変更はできません。
- フラッシュ使用時は、プレビューと絞り値の結果が異なることがあります。
- プレビューは被写界深度を確認する機能のため、AEが合わないことがあります。
- モードでは使用できません。



長時間露光

- **M** モードで ISO 感度を固定値で設定しているときは、シャッター速度で **B** / **T** / **BT** が選択できます。



シャッター速度	動作
B バルブ	SHUTTER を押し続ける間に露光し、放すと露光が終了します。
T タイム	SHUTTER を押すと露光が開始し、もう一度押すと露光が終了します。
BT バルブタイマー	SHUTTER を押すと露光が開始し、設定した時間で露光が終了します。 + で露光時間を設定します。

- **B** / **T** は [ドライブモード] が [1 コマ撮影] [多重露出] のとき、**BT** は [1 コマ撮影] [多重露出] [インターバル撮影] [インターバル合成] のときに使用できます。



M モードで適正露出に補正する

- **C2** メニュー [Fn ボタン設定] (p.129) で [M モードワンプッシュ AE] を登録しておくと、ボタンを押したときに適正露出に補正されます。そのときに優先する値を選択できます。

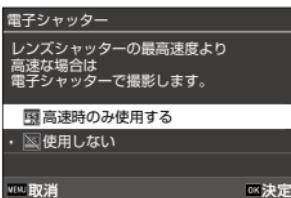
プログラム AE	絞り値とシャッター速度の両方を調整
絞り優先 AE	絞り値を固定してシャッター速度を調整
シャッター優先 AE	シャッター速度を固定して絞り値を調整

ISO AUTO またはシャッター速度が **B** / **T** / **BT** のときは、[M モードワンプッシュ AE] は動作しません。



電子シャッターを利用する-----

- 静止画撮影時に、通常のレンズシャッターの最高速度より高速なシャッター速度の場合に、電子シャッターで撮影を行います。



高速時のみ使用する	レンズシャッターの最高速度より高速な場合は、電子シャッターで撮影します。
使用しない	レンズシャッターで撮影します。

- 電子シャッターで撮影された場合は、動いている被写体が歪んで撮影されることがあります。

■ 動画を撮影する

3

いろいろな写真を撮影する

1 □を押す

■ モードになります。

■3 / ■3 メニュー [静止画 / 動画切替] で切り替えることもできます。



2 ピントを合わせる

■1 メニュー [フォーカス] が [AF] のときは、SHUTTER を半押しします。

3 SHUTTER を全押しする

録画が開始されます。

録画中は、記録時間が表示されます。



4 もう一度 SHUTTER を押す

録画が終了します。

■ 注意

- 4 メニュー [音声記録] を [オン] (初期設定) に設定している場合、カメラの動作音なども録音されます。
- 撮影中にカメラ内部が高温になると、強制終了する場合があります。
- モードでは、以下の機能は使用できません。
 - フラッシュ
 - 無線 LAN



メモ

- ・動画は、モードダイヤルの位置にかかわらず **P** モードで撮影されます。露出補正は可能です。
- ・**C2** メニュー [タッチ AF] が有効になっているときは、録画中もタッチパネルで AF ができます。(p.55)
- ・**■1** モードでは、**SHUTTER** 半押しで AE はロックされません。**Fn** を押している間、AE ロックされます。(初期設定)
- ・動画は最大 4GB、または最長 25 分まで連続して撮影できます。メモリーカードまたは内蔵メモリーがいっぱいになると、撮影は終了します。1 回あたりの撮影可能時間は、ご使用のメモリーカードによって異なります。(p.165) また撮影可能時間内でも、撮影が終了することがあります。
- ・残り記録時間は、動画記録中にメモリーの残容量から再計算されるため、時間の変化が一定でないことがあります。
- ・動画撮影時は、スピードクラスが Class6 以上のメモリーカードを使用してください。
- ・十分に残量のあるバッテリー、または市販の USB Power Delivery 対応 AC アダプター、別売りの AC アダプター (K-AC166J) を使用してください。
- ・**C2** メニュー [Fn ボタン設定] (p.129) で [動画ボタン] の設定を変更しているときは、**■3** / **■4** メニューで **■1** モードに切り替えてください。

動画を再生する

1 ◯を押す

再生モードの1画像表示になります。

2 ◀▶で再生する動画を選択する

最初の1フレーム目が静止画で表示されます。

3

3 再生する

いろいろな写真を撮影する

以下の操作ができます。



▲ /タップ	再生／一時停止
▼ /ダブルタップ	停止
◐ / ±	音量調節 (0 ~ 20)
◀▶ / ◎	(再生中) 早送り／早戻し (一時停止中) コマ送り／コマ戻し
[Fn]	(一時停止中) 静止画を JPEG で保存
[DISP]	[標準情報表示] [情報表示なし] 切り替え



メモ

- 再生したときの最初の音量は、■1メニュー【再生音量】で設定できます。
- 3メニュー【動画編集】で、動画の分割や切り出しができます。
(p.114)

■ フォーカスを設定する

フォーカスモードを設定する

 Auto	5×5の測距エリアから測距し、適切な位置にピントを合わせます。[初期設定]
 AF ゾーンセレクト AF	3×3の測距エリアを任意に移動し、エリア内の適切な位置に自動でピントを合わせます。(p.64)
 AF セレクト AF	任意の1つの測距エリアを指定してピントを合わせます。(p.64)
 AF ピンポイント AF	[セレクト AF] より小さい任意のエリアにピントを合わせます。(p.64)
 AF 追尾 AF	被写体を追尾してピントを合わせ続けます。(p.64) SHUTTER を半押しすると、画像モニター中央の枠内の被写体が追尾対象として設定され、緑色のターゲットマークが表示されます。追尾対象が見つからないときは、枠が赤く表示されます。
 AFC コンティニュアス AF	SHUTTER を半押ししている間、ピントを合わせ続けます。(p.64) ■1メニュー [コンティニュアス AF動作] で [フォーカス優先] [コマ速優先] が設定できます。
 MF MF	手動でピントを合わせます。(p.65)
 Snap スナップ	設定した距離にピントを固定します。 ■1メニュー [スナップ撮影距離] で距離を設定します。 ▲を押しながら ⇗ を回すと、距離が変更できます。
 ∞	無限遠にピントを固定します。遠くの風景などを撮影するときに使います。

1 1 / 1 メニュー [フォーカス] を選択し、▶を押す

2 ▲▼で選択する

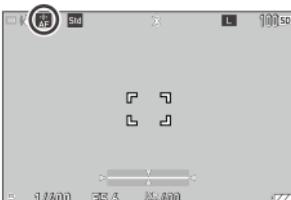
■モードは、[AF] [MF] [スナップ] [∞] から選択します。



3 を押す

4 を押す

撮影画面にフォーカスモードのアイコンが表示されます。



メモ

- 2 メニュー [ADJ モード設定] [Fn ボタン設定] に登録できます。(p.127, p.129)
[Fn ボタン設定] に [MF 切替] [スナップ切替] [追尾 AF 切替] を設定すると、ボタンの操作だけでフォーカスモードが切り替えられます。
- [オートエリア AF] [ゾーンセレクト AF] [セレクト AF] [ピンポイント AF] 設定時は、必要に応じてカメラ前面の AF 補助光ランプが点灯します。1 メニュー [AF 補助光] で [オフ] に設定することもできます。
- 1 / 1 メニュー [フォーカスアシスト] を [オン] に設定すると、ピントが合った部分の輪郭が強調され、確認しやすくなります。
- 初期設定では  でも AF が作動します。このときの  の動作は、2 メニュー [Fn ボタン設定] の [フォーカス設定] で設定できます。(p.129)

■ 注意

- **C2** メニュー [シャッターボタン設定] を [AE ロック] に設定した場合は、**SHUTTER** 半押して AF は動作しません。(p.132)



人物を検出する

- [オートエリア AF] [ゾーンセレクト AF] [セレクト AF] [ピンポイント AF] 設定時は、人物の顔や瞳を自動で検出して AF を行います。
■1 メニュー [顔 / 瞳検出] で [オートエリア AF のみ] [オフ] に変更できます。
- 複数の人物が被写体の場合に、ピントを合わせたい人物の顔をタップすると測距点が移動します。(**C2** メニュー [タッチ AF] が有効の場合)
- [オートエリア AF] では、AF 時に **OK** を押すと顔を選択できる状態になり、**▲▼◀▶** でピントを合わせる人物の顔を選択できます。



ピントを合わせる距離を制限する

- **■1** メニュー [フォーカスリミッター] で、ピントを合わせる距離を制限すると、スムーズなピント合わせが可能になります。[近距離側] [遠距離側] が選択できます。
- 以下のときは、[フォーカスリミッター] は無効です。
 - **Sn** モード
 - マクロモード
 - [フォーカス] の [MF] [スナップ] [∞]
 - フルプレススナップ時

測距点を指定して撮影する

1 **1** メニュー [フォーカス] で [ゾーンセレクトAF] [セレクトAF] [ピンポイントAF] [追尾AF] [コンティニュアスAF] を選択する

2 撮影画面で **OK** を押す

測距点が移動できる状態になります。

3

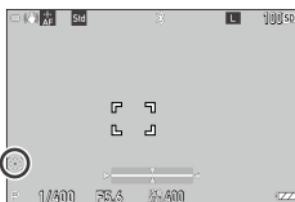
いろいろな写真を撮影する

3 **▲▼◀▶** で測距点を指定する

OK を長押しすると、測距点が中央に戻ります。

画像モニターをタップして、測距点を移動することもできます。

[顔/瞳検出] で複数の顔が検出されていたときは、測距する顔を選択できます。

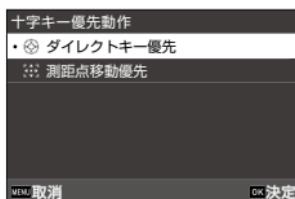


4 **OK** を押す

測距点が設定されます。

◆ メモ

- C 2 メニュー [十字キー優先動作] を [測距点移動優先] に設定すると、手順 2 で **OK** を押さなくても **▲▼◀▶** で測距点の移動ができます。この場合は、ボタンの機能が以下のようになります。



OK	測距点を中央に戻す
OK 長押し	▲▼◀▶ の測距点移動とダイレクトキー機能 (AE AF ISO) の切り替え

手動でピントを合わせる（マニュアルフォーカス）

オートフォーカスでピントが合わないときには、手動でピントを合わせます。

マニュアルフォーカスでは、撮影距離を固定して撮影できます。

1 1 / 1 メニュー [フォーカス] で [MF] を選択する
撮影画面にフォーカスバーが表示されます。

2 ▲を押す

フォーカスバーに▶が表示されます。



3 ピントを合わせる距離を調整する

以下の操作ができます。

	フォーカス距離を調整
 長押し	ライブビューを拡大表示 (p.49)

メモ

- 1 / 1 メニュー [MF 時の自動拡大表示] を [オン] に設定すると、撮影画面が自動で拡大表示されてフォーカスが合わせやすくなります。

接写する（マクロ）

レンズ先端から6～15cmの範囲でAFを行います。

1 撮影モードで▲（）を押す

マクロモードになり、撮影画面にマークが表示されます。

3

いろいろな写真を撮影する

2 撮影する

マクロモードを解除するときは、もう一度▲を押します。

メモ

- 1 / 1メニュー [マクロモード] で [オン] [オフ] を切り替えることもできます。
- [フォーカス] が [スナップ] [∞] のときは、[セレクトAF] で動作します。

注意

- [フォーカス] が [MF] のときは、▲を押すと、撮影距離の設定操作になります。(p.65) マクロモードにするときは、1 / 1メニュー [マクロモード] で設定してください。



シャッター ボタンをいっきに押して撮影する（フルプレスナップ）

SHUTTER を半押しすると AF が動作しますが、**SHUTTER** をいっきに押し込んだときに、設定した距離で撮影する速写機能を「フルプレスナップ」といいます。**■1** / **■1** メニュー [スナップ撮影距離] で設定した距離にピントを合わせて撮影します。

■1 メニュー [フルプレスナップ] で設定します。

[オン] に設定すると、撮影画面にアイコンと撮影距離が表示されます。



オン	フルプレス時に、[スナップ撮影距離] で設定した距離にピントを合わせて撮影します。
オフ	通常の AF を行ってから撮影します。

注意

- 以下のときは、フルプレスナップはできません。
 - Sn** モード
 - モード
 - マクロモード
 - [フォーカス] の [MF] [スナップ] [∞]
 - [ドライブモード] の [セルフタイマー]

メモ

- [フルプレスナップ] が [オン] のときでも、**SHUTTER** を半押しすると [フォーカス] の設定でピントを合わせます。

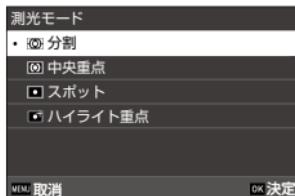
■露出を設定する

測光方法を選択する

3

いろいろな写真を撮影する

●2 / ■2 メニュー [測光モード] で設定します。



<input checked="" type="radio"/> 分割	撮影範囲を分割して、総合的に判断します。 [顔 / 瞳検出] で顔または瞳が検出されているときは、顔に露出を合わせます。
<input checked="" type="radio"/> 中央重点	中央を重点的に測光します。
<input checked="" type="radio"/> スポット	狭い範囲を測光します。 一部の露出を測りたいときや、露出を合わせたい被写体が小さいときなどに利用します。
<input checked="" type="radio"/> ハイライト重点	撮影範囲を分割して測光し、明るい部分を重視した露出にします。



メモ

- **C 2** メニュー [ADJ モード設定] に登録できます。(p.127)
- **2** メニュー [測距点と露出の関連付け] を [オン] に設定すると、[測光モード] と [フォーカス] が以下の組み合わせのときに、測光ポイントと AF エリア内の測距点が連動します。

測光モード	フォーカス
分割	[セレクト AF] [ピンポイント AF] [追尾 AF] [コンティニュアス AF]
スポット	[セレクト AF] [ピンポイント AF] [コンティニュアス AF] [顔 / 瞳検出] で顔または瞳が検出されているときは、顔に露出を合わせます。

ISO 感度を設定する

3

いろいろな写真を撮影する

1 ◀ (ISO) を押す

2 ⌂ / ⌂ で値を変更する

ISO 160 ~ ISO 409600 で設定できます。

[Fn] を押すと、ISO AUTO に戻ります。もう一度 [Fn] を押すと、最後に設定した固定値に戻ります。



メモ

- C2 メニュー [ADJ モード設定] に登録できます。(p.127)
- ISO 感度を高くすると、画質が粗くなる場合があります。
- ISO 感度によっては、C5 メニュー [ダイナミックレンジ補正] の設定が無効になります。(p.92)
- C2 メニュー [ISO 感度設定] で設定することもできます。その場合は、ISO AUTO の詳細設定ができます。



ISO 感度オート 上限値	ISO AUTO の最高感度を選択
ISO 感度オート 下限値	ISO AUTO の最低感度を選択
低速限界値	ISO AUTO で感度がアップするときのシャッター速度を選択

- C2 メニュー [Fn ボタン設定] (p.129) で [ISO ボタン] の設定を変更しているときは、C2 メニューで設定してください。

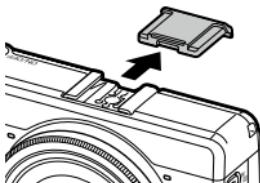
フラッシュを使用する

別売りのフラッシュを接続してフラッシュ撮影を行います。
以下のフラッシュが使用できます。

- GF-2

フラッシュを接続する

- 1 カメラに装着されているホットシュー
カバーを取り外す



- 2 カメラと外部フラッシュの電源がオフの状態で、外部フラッシュをホットシューに取り付ける
- 3 カメラの電源をオンにしてから、外部フラッシュの電源をオ
ンにする

■ 注意

- 外部フラッシュをカメラから取り外すときは、外部フラッシュの電
源を切ってから取り外してください。
- 外部フラッシュがカメラに認識されないときは、外部フラッシュと
カメラの電源をオフにして、外部フラッシュを接続し直してください。

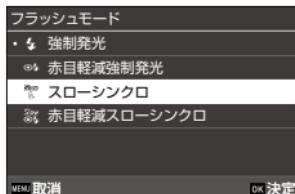


その他の外部フラッシュを使用する

- 信号端子は X 接点のみで極性が +、電圧が 20V 以下のものを使
用してください。
- [フラッシュモード] は設定できません。常に [強制発光] で動作し
ます。
- フラッシュの設定にかかわらず、ホットシューの X 接点にフラッシュ
発光信号が output されます。
- 撮影レンズの画角をカバーする照射角を持つ外部フラッシュを使
用してください。

フラッシュモードを設定する

- 1  メニュー [フラッシュモード] を選択し、▶を押す
- 2 [フラッシュモード] を選択し、▶を押す
- 3 ▲▼でフラッシュモードを選択する



 強制発光	常にフラッシュを発光します。[初期設定]
 赤目軽減強制発光	赤目現象を軽減しながら強制発光します。
 スローシンクロ	シャッター速度を遅くして発光します。人物を入れた夜景の撮影に適します。手ぶれが起りやすいので、三脚の使用をお勧めします。
 赤目軽減スローシンクロ	赤目現象を軽減しながらスローシンクロ発光します。

- 4  を押す
- 5 光量を補正するときは [フラッシュ発光量] を選択し、▶を押す

6 発光量を選択し、OK を押す

[1/1] はフル発光、[1/4] はフル発光の 1/4 の光量になります。



7 MENU を 2 回押す

注意

- **Tv** / **M** モードでは、[スローシンクロ] [赤目軽減スローシンクロ] は選択できません。

ノイズを低減する

長秒時ノイズ低減

シャッター速度を長く設定すると、画像にノイズが発生しやすくなります。**■5**メニュー【ノイズリダクション】の【長秒時ノイズ低減】を設定すると、ノイズ低減処理が行われます。

3



いろいろな写真を撮影する

オート	シャッター速度・ISO感度・カメラ内部温度を判断してノイズリダクションを行います。
オン	シャッター速度が1秒以上のときにノイズリダクションを行います。
オフ	ノイズリダクションを行いません。

【長秒時ノイズ低減】の処理中は、ステータスランプが点滅します。

高感度ノイズ低減

ISO感度が高感度のときのノイズを低減します。

- 1 **■5**メニュー【ノイズリダクション】の【高感度ノイズ低減】を選択し、▶を押す
【高感度ノイズ低減】画面が表示されます。

- 2 ▲▼で選択し、OKを押す



オート	ISO 感度に応じて自動的にノイズリダクションを行います。
弱／中／強	弱／中／強のノイズリダクションを行います。
カスタム	ISO 感度別に強度を設定できます。
オフ	ノイズリダクションを行いません。

[ノイズリダクション] 画面に戻ります。

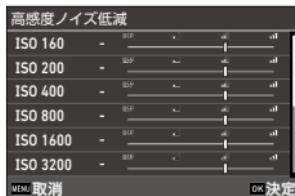
[カスタム] を選択した場合は、次の手順に進みます。

それ以外を選択した場合は、手順 6 に進みます。

3 [カスタム時の動作] を選択し、▶ を押す

ISO 感度を選択する画面が表示されます。

4 ▲▼ で ISO 感度を選択し、◀▶ で強度を選択する



5 OK を押す

6 MENU を 2 回押す

注意 -----

- ノイズリダクションを設定すると、画像の記録に時間がかかることがあります。

■ ドライブモードを設定する

3

いろいろな写真を撮影する

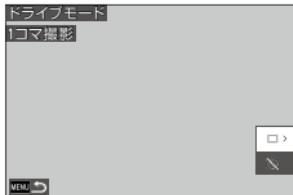
1 撮影モードで □ (►) を押す

[ドライブモード] 画面が表示されます。

2 ► を押す

[ドライブ] 画面が表示されます。

[セルフタイマー] は、p.85 を参照してください。



3 ▲▼でドライブモードを選択する

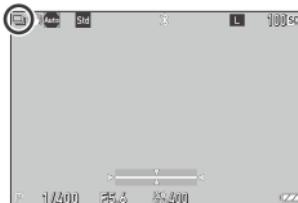


 1コマ撮影	通常の1枚ずつの撮影です。	—
 連続撮影	SHUTTER を押している間、連続して撮影します。	p.77
 ブラケット撮影	1回の撮影で、露出を変化させた画像を3枚保存します。	p.78
 多重露出	画像を合成しながら撮影します。	p.79
 インターバル撮影	一定の間隔で自動撮影します。	p.81

 インターバル合成	連続撮影した画像の、明るい部分を残すように合成します。定位置の夜景撮影で、星や月の光跡を記録したいときなどに使用します。	p.83
--	--	------

4 を押す

撮影画面にドライブモードのアイコンが表示されます。



メモ

- 3メニュー [ドライブモード] で設定することもできます。C2メニュー [Fnボタン設定] (p.129) で [ドライブボタン] の設定を変更しているときは、3メニューで設定してください。

連続して撮影する（連続撮影）

1 p.76の手順3で [連続撮影] を選択する

2 撮影画面で **SHUTTER** を押し続ける

SHUTTER を押している間、連続して撮影されます。

露出を変化させて撮影する（プラケット撮影）

3

いろいろな写真を撮影する

- 1 p.76 の手順 3 で [プラケット撮影] を選択し、**Fn** を押す
詳細設定画面が表示されます。



- 2 **▲▼◀▶** で設定を変更する



振り幅設定	露出を変化させる幅を ±0.3 ~ ±5.0 から選択します。
プラケット撮影順	3 枚の撮影順を [0-+] [-0+] [+0-] [0+-] から選択します。

- 3 **MENU** を押す

[ドライブ] 画面に戻ります。

- 4 **OK** を押す

撮影画面に戻ります。

- 5 **SHUTTER** を押す

1 回のレリーズで、指定した順に 3 枚の画像が保存されます。



メモ

- フラッシュ使用時は、フラッシュ光量を変化させて撮影されます。

画像を合成しながら撮影する（多重露出）

- 1 p.76 の手順 3 で [多重露出] を選択し、**Fn** を押す
詳細設定画面が表示されます。



- 2 ▲▼◀▶ で設定を変更する



合成方法	[平均] : 露光量を平均して合成します。 [加算] : 露光量を加算して合成します。 [比較明] : 1枚目の画像と比較して明るい部分だけを置き換えて合成します。
途中画像保存	合成前の各画像や途中の合成画像を保存するかどうか指定します。 途中の画像は JPEG 形式で保存されます。

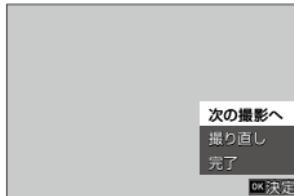
- 3 **MENU** を押す
[ドライブ] 画面に戻ります。

- 4 **OK** を押す
撮影画面に戻ります。

- 5 1 枚目の画像を撮影する

6 次の画像を撮影するときは [次の撮影へ] を選択し、OK を押す

撮影をやり直す場合は、[撮り直し] を選択します。



7 次の画像を撮影する

手順 6～7 を繰り返します。

1つ前の合成画像に戻るときは [撮り直し] を選択します。

8 撮影を終了するときは [完了] を選択する

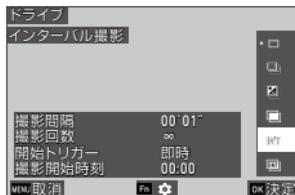
合成された画像が保存されます。

■ 注意

- ・多重露出の撮影中は、以下の機能は変更できません。
 - ・3 メニュー [ドライブモード]
 - ・4 メニュー [撮影メモリー設定] [記録形式] [アスペクト比] [クロップ] [JPEG 記録サイズ]
 - ・5 メニュー [イメージコントロール]

一定間隔で自動撮影する（インターバル撮影）

- 1 p.76 の手順 3 で [インターバル撮影] を選択し、**Fn** を押す
詳細設定画面が表示されます。



- 2 ▲▼◀▶ で設定を変更する

数値を変更したときは、**OK** で確定します。



撮影間隔	撮影の間隔を [最短] ~ 60 分で指定します。
撮影回数	撮影する枚数を [∞] [2] ~ [99] で指定します。
開始トリガー	1 枚目をすぐに撮影するか、指定した時刻に撮影するか指定します。
撮影開始時刻	[開始トリガー] が [時刻指定] のときの時刻を指定します。

- 3 **MENU** を押す

[ドライブ] 画面に戻ります。

- 4 **OK** を押す

撮影画面に戻ります。

- 5 **SHUTTER** を押す

[開始トリガー] が [即時] の場合は、1 枚目が撮影されます。[時刻指定] の場合は、設定した時刻から撮影が開始されます。

途中で撮影を終了するときは、**OK** を押します。

■ 注意

- 撮影の設定によっては、次の撮影が可能になるまでの時間がインターバル撮影の設定時間よりも長くなることがあります。
- 時間間隔が短い場合は、1枚目の露出で2枚目以降も撮影されることがあります。
- 露出モードを変更したり、電源をオフにすると、インターバル撮影は終了します。

■ メモ

- 1回のインターバル撮影ごとに、新しいフォルダーが作成されて画像が保存されます。
- 1メニュー【フォーカス】(p.61) が【MF】【スナップ】【∞】に設定されている場合にフルプレススナップで撮影されたときは、1枚目のフォーカス位置で固定されます。
- 十分に残量のあるバッテリー、または市販のUSB Power Delivery対応ACアダプター、別売りのACアダプター(K-AC166J)を使用してください。

星の光跡などを記録する（インターバル合成）

1 カメラを三脚に固定し、試し撮りを行う

露出やフォーカスマードを設定し、構図を確認します。この露出設定で合成されます。

2 p.76 の手順 3 で [インターバル合成] を選択し、**Fn** を押す

詳細設定画面が表示されます。



3 ▲▼◀▶ で設定を変更する

数値を変更したときは、**OK** で確定します。



撮影時間	撮影する時間を [∞]、10 分～24 時間で指定します。
開始トリガー	1 枚目をすぐに撮影するか、指定した時刻に撮影するか指定します。
撮影開始時刻	[開始トリガー] が [時刻指定] のときの時刻を指定します。
途中画像保存	合成前の各画像や途中の合成画像を保存するかどうか指定します。 途中の画像は JPEG 形式で保存されます。

4 **MENU** を押す

[ドライブ] 画面に戻ります。

5 **OK** を押す

撮影画面に戻ります。

6 1枚目の画像を撮影する

最短の間隔で連続撮影されます。

合成中の画像を確認するときは、**SHUTTER** を半押しします。

SHUTTER を全押しすると、インターバル合成を継続したままその時点の合成画像を保存し、新たに合成を開始します。

途中で撮影を終了するときは、**OK** を押します。

■ 注意

- 露光中に **OK** または **SHUTTER** を全押ししたときは、その画像は合成されません。
- 露出モードを変更したり、電源をオフにすると、インターバル合成は終了します。
- 2枚目以降の撮影時は、AFは動作しません。
- 以下の機能は【オフ】固定です。
 - 5**メニュー【ノイズリダクション】の【長秒時ノイズ低減】
 - 6**メニュー【Shake Reduction】

◆ メモ

- 【途中画像保存】を保存する設定にした場合、1回のインターバル合成ごとに新しいフォルダーが作成されて画像が保存されます。
- 以下の設定は、1枚目撮影時の値で固定されます。
 - AFのフォーカス位置
 - ISO AUTO 時の ISO 感度・シャッター速度・絞り値
- 暗い場所での撮影は、別売りの外部ファインダー (GV-1 または GV-2) を使用すると便利です。

セルフタイマーを使用する

[連続撮影] 以外のドライブモードでは、[セルフタイマー] を併用できます。

[10秒] [2秒] が選択できます。

セルフタイマーのカウントダウン中は、セルフタイマーランプが点滅し、電子音が鳴ります。



◆ メモ

- ・[インターバル撮影] [インターバル合成] では、1枚目の撮影時のみセルフタイマーが動作します。[開始トリガー] が [時刻指定] に設定されているときは、セルフタイマーは無効です。
- ・カウントダウン時のセルフタイマーランプと電子音をオフに設定できます。(p.137、p.138)

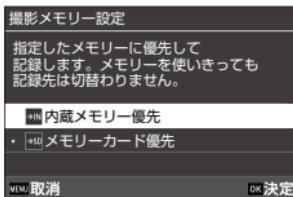
記録方法を設定する

記録先を設定する

3

いろいろな写真を撮影する

●4 / ■4 メニュー [撮影メモリー設定]
で、画像／動画の記録先を設定します。



内蔵メモリー優先	内蔵メモリーに記録
メモリーカード優先	メモリーカードがセットされているときは、メモリーカードに記録。セットされていない場合は、内蔵メモリーに記録

- 注意
- 撮影メモリーが記録できない状態（空き容量なし、フォルダー作成不可、メモリー異常等の記録不可状態）になったときでも、もう一方の記録先には切り替わりません。

静止画の記録設定

■4メニュー [記録設定] で、静止画の形式を設定します。



記録形式	[JPEG] [RAW] : RAW 画像 (DNG 形式) を記録 [RAW+JPEG] : RAW 画像と JPEG 画像を同時に記録
アスペクト比	[3:2] [4:3] [1:1] [16:9]
クロップ	[オフ] [35mm] [50mm]
JPEG 記録サイズ	[L] [M] [S] [XS]
色空間	[sRGB] [AdobeRGB]



メモ

- ・ [アスペクト比] が [4:3] [1:1] のときは画像モニターの左右、[16:9] のときは画像モニターの上下が黒く表示されます。
- ・ C2メニュー [ADJ モード設定] [Fn ボタン設定] に登録できます。(p.127、p.129)
[Fn ボタン設定] に [JPEG → RAW] [JPEG → RAW+] を設定すると、簡単に記録形式が切り替えられます。



RAWでの撮影

- ・ RAW 画像は、■3メニュー [RAW 現像] で JPEG 形式に変換できます。(p.106)
- ・ RAW 画像は [アスペクト比] [クロップ] の設定にかかわらず、26M (6192 × 4128) のサイズで記録されます。
- ・ RAW 画像には、以下の機能は反映できません。■3メニュー [RAW 現像] で JPEG 形式に変換するときに反映できます。
 - ・ イメージコントロール
 - ・ シャドー補正
- ・ [RAW+JPEG] に設定したときは、上記の機能が JPEG 画像だけに反映されます。



画角の変更

- ・[クロップ]を[35mm] [50mm]に設定すると、35ミリ判換算の画角が通常の28mmから35mmまたは50mmになり、画面の表示も変更されます。
- ・[クロップ]を設定したときは、[JPEG記録サイズ]に制限があります。

3

いろいろな写真を撮影する

クロップ	JPEG記録サイズ
35mm	[L] 設定時：[M]で記録
50mm	[L] [M] 設定時：[S]で記録

動画の記録設定

- 4メニュー【記録設定】で、動画の記録先と形式を設定します。



フレームレート	[60p] [30p] [24p]
音声記録	[オン] [オフ]

■ 画像仕上げと補正の設定

モアレを低減させる（ローパスセレクター）

●3 メニュー [ローパスセレクター] で、ローパスフィルターのようなモアレ低減効果が得られます。
[強] [弱] [オフ] が選択できます。

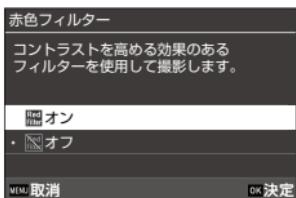


■ 注意

- シャッター速度が高速のときやフラッシュ撮影時は、十分な効果が得られないことがあります。

赤色フィルターを利用する

●3 / ■3 メニュー [赤色フィルター] で、コントラストを高めるフィルターを常時使用するかどうかを設定します。



オン	常に赤色フィルターを使用します。撮影画面のライブビューに適用されます。
オフ	赤色フィルターを使用しません。

■ メモ

- 初期設定では、Fn でオン／オフが切り替えられます。Fn の機能は、C2 メニュー [Fn ボタン設定] で変更できます。(p.129)

写真の雰囲気を決めて撮影する（イメージコントロール）

彩度やコントラストなどを変更した画像が撮影できます。

色調などを変更して、特徴的な画像を撮影します。

3

いろいろな写真を撮影する

Std スタンダード	階調再現性に優れ、明暗のバランスが取れた基本的な白黒モードです。
Sol ソリッド	しっかりとした輪郭と硬調なコントラストで現代的な表現の白黒モードです。
Soft ソフト	被写体の輪郭をやわらげた、優しくコントラストを抑えた白黒モードです。 ■モードでは、選択できません。
Hi ハイコントラスト	際立った黒と白のコントラストにより、力強く印象的な表現の白黒モードです。
Gra グレーニー	粒状感を際立たせた白黒プリントのような表現の白黒モードです。 ■モードでは、選択できません。
HDR HDR調	陰影を強調して、ドラマチックな印象を与える白黒モードです。 ■モードでは、選択できません。
1 2 3 カスタム 1～3	パラメーターを変更した設定を、3種類登録できます。

1 撮影モードで (▼) を押す

[イメージコントロール] 画面が表示されます。

2 ▲▼でイメージを選択する

パラメーターを変更しない場合は、手順6に進みます。



3 Fn を押す

詳細設定画面が表示されます。

4 ▲▼◀▶ で設定を変更する

選択したイメージによって、設定できるパラメーターが異なります。



5 OK を押す

手順 2 の画面に戻ります。

6 OK を押す

7 MENU を押す

撮影画面にマークが表示されます。



◆ 注意

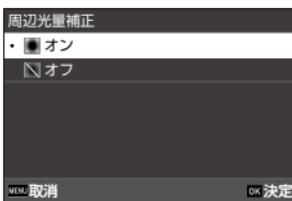
- RAW 画像に [イメージコントロール] は反映されません。■ 3 メニュー [RAW 現像] を実行したときに設定できます。(p.106)

◆ メモ

- 2 メニュー [ADJ モード設定] [Fn ボタン設定] に登録できます。(p.127、p.129)
- [カスタム 1] ～ [カスタム 3] の名称は、RICOH GR シリーズ専用アプリ「GR WORLD」で変更できます。(p.117)

周辺光量を補正する

■5 / ■5 メニュー [周辺光量補正] で、レンズ特性によって生じる周辺光量の低下を補正します。

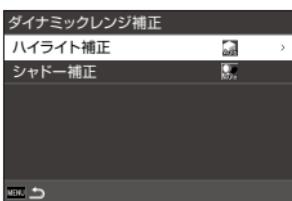


3

いろいろな写真を撮影する

階調を補正する（ダイナミックレンジ補正）

■5 / ■5 メニュー [ダイナミックレンジ補正] で、画像の階調を広げて明るい部分から暗い部分まで表現します。



 ハイライト補正	[オート] [オン] [オフ] が選択できます。 ■5 モードでは、[オン] は選択できません。
 シャドー補正	[オート] [弱] [中] [強] [オフ] が選択できます。

注意

- ・[シャドー補正] を [強] に設定すると、画像のノイズが目立つ場合があります。
- ・ISO 感度を ISO 320 未満に設定したときは、ハイライト補正は動作しません。

手ぶれを補正する

手ぶれを自動的に補正するときは、以下の機能を設定します。

初期設定は、どちらも【オン】に設定されています。

静止画モード	■6メニュー [Shake Reduction]
動画モード	■6メニュー [Movie SR]



メモ

- **C2**メニュー[Fnボタン設定]に、[Shake Reduction]を設定すると、ボタンの操作だけで【オン】【オフ】が切り替えられます。(p.129)
- [ドライブモード]で【セルフタイマー】を設定しているときは、[Shake Reduction]が自動的に【オフ】になります。【オン】のままにする場合は、■6メニュー[SRの自動オフ]を【自動オフしない】に設定します。

傾きを補正する

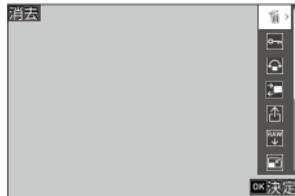
電子水準器が検知した水平方向の傾きを補正して撮影します。

■6メニュー【自動水平補正】で設定します。

■ 再生機能を選択する

再生に関する機能は □ メニュー、または再生機能選択画面から設定します。

再生モードのときに □ を押すか画像モニターをロングタップすると、再生機能選択画面が表示されます。再生機能選択画面では、□2 / □3 メニューの機能が設定できます。



■ 注意

- 表示している画像が再生機能に対応していない場合は、その機能は実行できません。

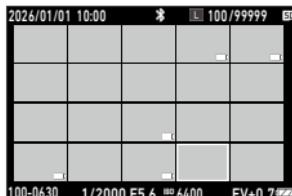
再生方法を変更する

複数画像を表示する

複数の画像を一覧表示します。

1 再生モードの1画像表示で **±** ーを押す

複数画像が表示されます。



以下の操作ができます。

▲▼◀▶ / ⌂ / ⌂	選択枠を移動
上下フリック	ページ送り
DISP	20 画像表示／48 画像表示切り替え
± ー / ピンチイン	撮影日表示（フォルダー表示）に切り替え
OK	（撮影日表示）撮影日の複数画像表示 （フォルダー表示）フォルダー内を複数画像表示
■	選択消去（p.99）
■ / ロングタップ	再生機能選択画面を表示
■ (W _{SD}) 長押し	再生メモリー切り替え

2 **OK** または **ADJ** を押す

画像をタップして選択することもできます。

選択した画像が1画像表示になります。

◆ メモ

- 撮影日時の順に画像が再生されます。■1メニュー [再生順序設定] で [ファイル番号] に変更することもできます。その場合、手順1のあとに■1を押すと、フォルダー表示になります。
- 複数画像を表示したときに ■2メニューまたは再生機能選択画面を表示すると、複数の画像にまとめて機能を指定できます。撮影日表示／フォルダー表示のときに機能を選択したときは、撮影日／フォルダー単位で機能が実行できます。撮影日／フォルダー単位で実行できないときは、エラーメッセージが表示されます。

画像を回転して表示する

画像の回転情報を 90° 単位で変更します。

1 再生モードの1画像表示で、対象の画像を表示する

複数画像表示になっていたときは、選択されている画像が処理の対象になります。

2 ■2メニューまたは再生機能選択画面で [回転] を選択し、■1を押す

3 回転方向を選択し、OKを押す



◆ メモ

- 再生モードでは、カメラの向きに合わせて、画像が回転して表示されます。■1メニュー [画像の自動回転] を [オフ] に設定したときは、[回転] の指定にかかわらず、一定の向きで表示されます。

■ 注意

- メモリーカードがプロテクトされているとき、または以下の画像は回転方向を変更できません。
- 動画
- プロテクトされた画像

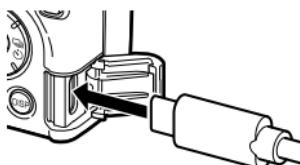
AV 機器と接続する

テレビなどと接続し、撮影時にライブビュー画像を表示したり、画像の再生ができます。

付属の USB ケーブル (I-USB198) で AV 機器と接続します。

1 AV 機器とカメラの電源をオフにする

2 カメラの端子カバーを開き、USB 端子に USB ケーブルを接続する



3 USB ケーブルを AV 機器の映像入力端子に接続する

詳しくは AV 機器の説明書を参照してください。

4 カメラの電源をオンにする

5 AV 機器の電源をオンにする

■ 注意

- AV 機器と接続しているときは、画像モニターは表示されません。
- 動画の音声は AV 機器から出力されます。音量調整は AV 機器で行ってください。
- カメラから AV 機器への電源供給はできません。AV 機器側で電源を供給してください。

◆ メモ

- 本機の USB 端子 (USB Type-C) は、DisplayPort™ に対応しています。

■ ファイルを整理する

消去する

4

いろいろな
再生と
編集

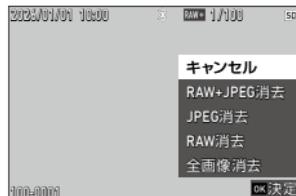
1 □ 2メニューまたは再生機能選択画面で【消去】を選択し、
▶を押す

2 [1 画像消去] [全画像消去] を選択する

[1 画像消去] のときは、◀▶で画像を変更します。

[記録形式] が [RAW+JPEG] で撮影された画像の場合は、消去するファイル形式を選択できます。

[全画像消去] を選択したときは、ファイル形式は選択できません。



3 OK を押す

画像が消去されます。

他の画像も消去する場合は、手順 2～3 を繰り返します。

終了する場合は [キャンセル] を選択します。

[全画像消去] を選択したときは、次の手順に進みます。

4 [実行] を選択し、OK を押す

全画像が消去されます。

複数画像を消去する

1 再生モードの1画像表示で **■** ーを押す

複数画像が表示されます。

2 **■** を押す

3 画像を選択する



以下の操作ができます。

▲▼◀▶ / ⌂ / ⌂	選択枠を移動
OK	画像を選択／解除
DISP	選択範囲の始点／終点を指定

4 **Fn** を押す

確認画面が表示されます。

5 [実行] を選択し、**OK** を押す

選択した画像が消去されます。



メモ-----

- ・プロテクトされている画像は選択できません。

プロジェクトを設定する

4

いろいろな再生と編集

画像を誤って削除しないように保護（プロジェクト）します。

1 □2メニューまたは再生機能選択画面で【プロジェクト】を選択し、▶を押す

2 [1 画像プロジェクト] [全画像プロジェクト] を選択する

[1 画像プロジェクト] のときは、◀▶で画像を変更します。



3 OK を押す

[1 画像プロジェクト] を選択したときは、選択した画像にプロジェクトが設定されます。

他の画像もプロジェクトする場合は、手順2～3を繰り返します。

終了する場合は【キャンセル】を選択します。

[全画像プロジェクト] を選択したときは、次の手順に進みます。

4 [プロジェクト] [解除] を選択し、OK を押す

全画像にプロジェクトが設定または解除されます。

◆メモ-----

- ・プロジェクトを解除するときは、再度【プロジェクト】を設定します。

注意-----

- ・□1メニュー【フォーマット】を行うと、プロジェクトされた画像も削除されます。

複数画像にプロテクトを設定する

1 再生モードの1画像表示で **■** 一を押す

複数画像が表示されます。

2 **■** 2メニューまたは再生機能選択画面で [プロテクト] を選択し、**▶** を押す

3 画像を選択する



以下の操作ができます。

▲▼◀▶	選択枠を移動
/ ⌂ / ⌂	
OK	画像を選択／解除
DISP	選択範囲の始点／終点を指定

4 **Fn** を押す

確認画面が表示されます。

5 [実行] を選択し、**OK** を押す

選択した画像にプロテクトが設定されます。

画像をコピーする

メモリーカードと内蔵メモリー間で、画像をコピーします。

1 メモリーカードをセットする

2 (IN_{SD}) を長押しし、コピー元の再生メモリーを選択する



4

いろいろな再生と
編集

3 2メニューまたは再生機能選択画面で【コピー】を選択し、 ▶を押す

4 [1 画像コピー] [全画像コピー] を選択する

[1 画像コピー] のときは、◀▶で画像を変更します。

[記録形式] が [RAW+JPEG] で撮影された画像の場合は、コピーするファイル形式を選択できます。

[全画像コピー] を選択したときは、ファイル形式は選択できません。



5 を押す

[1 画像コピー] を選択したときは、コピー先に画像が保存されます。

他の画像もコピーする場合は、手順4～5を繰り返します。

終了する場合は [キャンセル] を選択します。

[全画像コピー] を選択したときは、次の手順に進みます。

6 [実行] を選択し、 を押す

コピー先に新規フォルダーが作成されて保存されます。

注意

- コピー先の容量が足りない場合は、容量不足を示すメッセージが表示されます。

複数画像をコピーする

- (IN)** を長押しし、コピー元の再生メモリーを選択する
- 再生モードの1画像表示で **■** 一を押す
複数画像が表示されます。
- 2メニューまたは再生機能選択画面で [コピー] を選択し、
▶ を押す
- 画像を選択する



以下の操作ができます。

▲▼◀▶	選択枠を移動
/ ↗ / ↘	
OK	画像を選択／解除
DISP	選択範囲の始点／終点を指定

- Fn** を押す

確認画面が表示されます。

- [実行] を選択し、**OK** を押す

選択した画像がコピー先に保存されます。

転送予約を設定する

通信端末に転送する画像を選択して、転送予約を設定します。
カメラを登録した通信端末で RICOH GR シリーズ専用アプリを操作すると、転送が開始されます。

1 □2メニューまたは再生機能選択画面で [転送] を選択し、
▶を押す

2 [1 画像転送] を選択する

◀▶で画像を変更します。

[記録形式] が [RAW+JPEG] で撮影された画像の場合は、転送するファイル形式を選択します。



3 OK を押す

画像に転送予約が設定されます。

他の画像も転送予約する場合は、手順 2 ~ 3 を繰り返します。

終了する場合は [キャンセル] を選択します。



メモ

- ・転送予約を解除するときは、再度 [転送] を設定します。
- ・通信端末との接続は、「通信端末で利用する」(p.117) を参照してください。

複数画像に転送予約を設定する

1 再生モードの 1 画像表示で □ーを押す
複数画像が表示されます。

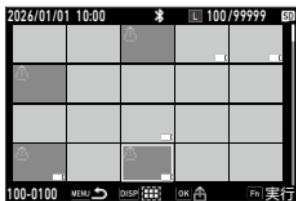
2 □2メニューまたは再生機能選択画面で [転送] を選択し、
▶を押す

3 [転送予約] [解除] を選択し、OK を押す

[転送予約] を選んだ場合は、次の手順に進みます。

[解除] を選択した場合は転送解除が実行され、複数画像表示に戻ります。

4 画像を選択する



以下の操作ができます。

▲▼◀▶ / ⌂ / ⌂	選択枠を移動
OK	画像を選択／解除
DISP	選択範囲の始点／終点を指定

5 Fn を押す

転送ファイル形式を選択する画面が表示されます。

6 ADJ でオン／オフを切り替える



7 OK を押す

選択した画像に転送予約が設定されます。

■ 画像を加工／編集する

撮影した画像を加工・編集して、新規に保存します。

■ 注意

- 加工・編集ができるのは、本カメラで撮影した JPEG 画像のみです。([RAW 現像] は RAW 画像のみ) 動画から保存した静止画は加工・編集できません。また加工・編集を繰り返し実行すると、画質が劣化します。

RAW 画像を現像する

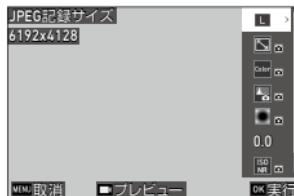
RAW 画像 (ファイル名拡張子 : .DNG) を JPEG 形式 (ファイル名拡張子 : JPG) に変換して新規保存します。イメージコントロールなどを設定して保存できます。

1 再生モードで RAW 画像を表示する

2 □ 3 メニューまたは再生機能選択画面で [RAW 現像] を選択し、▶ を押す

[RAW 現像] 画面が表示されます。

3 ▲▼ でパラメーターを選択する



以下の設定ができます。

- | | |
|--------------|------------|
| • JPEG 記録サイズ | • 周辺光量補正 |
| • アスペクト比 | • 増減感 |
| • 色空間 | • 高感度ノイズ低減 |
| • イメージコントロール | • シャドー補正 |

撮影時の設定が、最初に選択されています。

変更できる設定のみ選択できます。

以下の操作ができます。

	プレビューを表示
	(プレビュー中) 拡大表示

4 ▶ を押す

詳細設定画面が表示されます。

5 ▲▼で設定を選択する

[イメージコントロール] は、Fn を押すと、
詳細設定画面が表示されます。



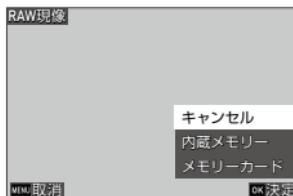
6 OK を押す

手順 3 の画面に戻ります。

7 すべての設定が終わったら OK を押す

8 保存先メモリーを選択し、OK を押す

画像が新規保存されます。



9 [継続] [終了] を選択し、OK を押す

[継続] を選択した場合は、手順 3 の画面に戻ります。

複数画像を現像する

複数画像を同じ設定で現像します。

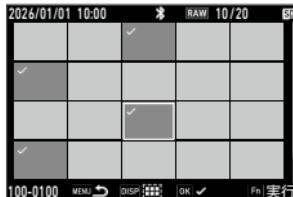
1 再生モードの1画像表示で **■** 一を押す

複数画像が表示されます。

2 **■** 3メニューまたは再生機能選択画面で [RAW 現像] を選択し、**▶** を押す

RAW画像が検索されます。

3 画像を選択する



以下の操作ができます。

▲▼◀▶ / ⌂ / ⌂	選択枠を移動
OK	画像を選択／解除
DISP	選択範囲の始点／終点を指定

4 **Fn** を押す

パラメーターを選択する画面が表示されます。

5 パラメーターと設定を選択する

6 すべての設定が終わったら **OK** を押す

7 保存先メモリーを選択し、**OK** を押す

画像が新規保存されます。

画像サイズを変更する

サイズを小さくする（リサイズ）

JPEG 画像を縮小して保存します。

1 再生モードの 1 画像表示で、対象の画像を表示する

複数画像表示になっていたときは、選択されている画像が処理の対象になります。

2 □ 3 メニューまたは再生機能選択画面で [リサイズ] を選択し、 ▶ を押す

[リサイズ] 画面が表示されます。

3 サイズを選択する

撮影時の [JPEG 記録サイズ] よりも小さいサイズが選択できます。



4 OK を押す

5 保存先メモリーを選択し、OK を押す

画像が新規保存されます。

トリミングする

JPEG 画像の一部を切り取って保存します。

1 再生モードの 1 画像表示で、対象の画像を表示する

複数画像表示になっていたときは、選択されている画像が処理の対象になります。

2 □3 メニューまたは再生機能選択画面で [トリミング] を選択し、▶を押す

[トリミング] 画面が表示されます。

3 トリミングする範囲を指定する



以下の操作ができます。

▲▼◀▶ / ⌂ / ⌂	トリミング枠を移動
ADJ	トリミング枠のアスペクト比 (3:2、4:3、1:1、16:9) を変更
DISP	操作をトリミングサイズ変更／画像回転に切り替え
±	トリミングサイズを変更、またはトリミング枠を 0.1° 回転
Fn	トリミング枠を 90° 回転
■	プレビューを表示
⌂ / ±	(プレビュー中) 拡大表示

4 OK を押す

5 保存先メモリーを選択し、OK を押す

画像が新規保存されます。

ハイライト／シャドーを補正する（レベル補正）

JPEG 画像のハイライト・中間調・シャドーを指定し、明るさやコントラストを補正します。

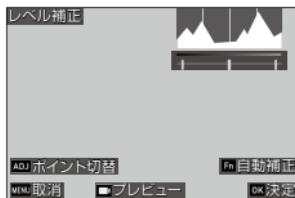
1 再生モードの 1 画像表示で、対象の画像を表示する

複数画像表示になっていたときは、選択されている画像が処理の対象になります。

2 □ 3 メニューまたは再生機能選択画面で [レベル補正] を選択し、▶ を押す

[レベル補正] 画面が表示されます。

3 値を調整する



以下の操作ができます。

ADJ	調整ポイント切り替え
◀▶ / ↻	値を調整
Fn	自動補正
■	プレビューを表示
⌚ / ±	(プレビュー中) 拡大表示

4 OK を押す

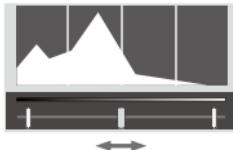
5 保存先メモリーを選択し、OK を押す

画像が新規保存されます。

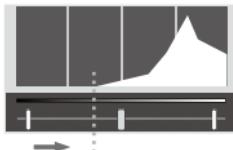


補正のしかた

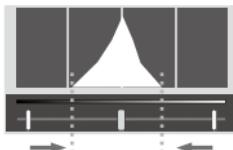
- 中央のポイントを左右に動かすと全体的な明るさが調整できます。左に動かすと明るく、右に動かすと暗くなります。



- 露出オーバーの場合は、左側のポイントを右に移動し、ヒストグラムの山の端に合わせます。露出アンダーの場合は、右側のポイントを左に移動します。



- ヒストグラムの山が中央に集中していてコントラストが低いときは、左右のポイントをそれぞれヒストグラムの山の端に合わせます。



画質を調整する

JPEG 画像の画質を調整します。

1 再生モードの 1 画像表示で、対象の画像を表示する

複数画像表示になっていたときは、選択されている画像が処理の対象になります。

2 □ 3 メニューまたは再生機能選択画面で [JPEG 画質調整] を選択し、▶ を押す

[JPEG 画質調整] 画面が表示されます。

3 値を調整する



以下の操作ができます。

▲▼	[明るさ] [調色] [コントラスト] [シャープネス] を選択
◀▶	値設定 (± 4)
□	プレビューを表示
拡大表示	(プレビュー中) 拡大表示

4 OK を押す

5 保存先メモリーを選択し、OK を押す

画像が新規保存されます。

動画を編集する

動画を切り出しましたは分割して新規保存します。

1 再生モードの1画像表示で、対象の動画を表示する

複数画像表示になっていたときは、選択されている動画が処理の対象になります。

2 □3メニューまたは再生機能選択画面で[動画編集]を選択し、▶を押す

[動画編集] 画面が表示されます。

3 [切り出し] [分割] を選択し、OKを押す



切り出し	始点と終点を指定し、その範囲を切り出して新規保存
分割	分割点を指定し、その前後で分割した2つの動画を新規保存

4 ポイントを指定する

動画再生時と同様に、再生や一時停止等ができます。(p.60)



それ以外に以下の操作ができます。

ADJ	[切出し]：始点／終点を切り替え
⌚	[切出し]：始点／終点を移動 [分割]：分割点を移動
Fn	[切出し]：再生位置に始点／終点を移動 [分割]：再生位置に分割点を移動
▣	(停止中) プレビューを表示

5 **OK** を押す

6 保存先メモリーを選択し、**OK** を押す

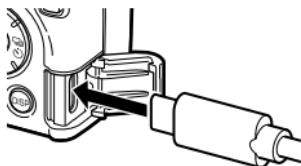
動画が新規保存されます。

■ パソコンで利用する

付属の USB ケーブル (I-USB198) を使用してパソコンと接続し、画像をパソコンにコピーします。

1 カメラの電源をオフにする

2 カメラの端子カバーを開き、USB 端子に USB ケーブルを接続する



5

画像を共有する

3 USB ケーブルをパソコンの USB Type-C ポートに接続する

カメラの電源がオンになり、再生モードになります。

カメラはデバイスとしてパソコンに認識されます。

メモリーカードがセットされているときはメモリーカードのファイル、メモリーカードがセットされていないときは内蔵メモリーのファイルが表示されます。□ (REC) を長押しすると、再生メモリーが切り替わります。

4 画像をパソコンにコピーする

画像の転送中は、ステータスランプが点滅します。

5 保存が終了したら、カメラとパソコンの接続を解除する

6 USB ケーブルを取り外す

■ 注意

- ・ 画像の転送中は、USB ケーブルを抜かないでください。
- ・ バッテリーの残量が少ないとときは、パソコンに認識されるまでに時間がかかることがあります。
- ・ USB 接続中は、無線通信機能は使用できません。



メモ

- ・本カメラをパソコンに接続したときは、「RICOH GR IV Monochrome」という名称のデバイスとして認識されます。
- ・本カメラとの接続に必要なパソコンのシステム環境は、「動作環境」(p.166) を参照してください。
- ・ 6メニュー【USB設定】で【ライセンス表示】を選択すると、ソフトウェアのライセンス情報が確認できます。

通信端末で利用する

カメラと通信端末を Bluetooth® で接続し、RICOH GR シリーズ専用アプリ「GR WORLD」を使って以下の機能が利用できます。

リモート撮影	通信端末を操作して撮影ができます。
画像閲覧	カメラに保存されている画像を通信端末に表示し、画像を取り込みます。
時刻同期	通信端末の日時設定と同期してカメラの日時を修正します。
電源操作	通信端末の操作でカメラの電源をオン／オフします。
ファームアップ	カメラのファームウェアをダウンロードし、カメラをバージョンアップします。
カメラ名変更	カメラの名称（初期設定：MY GR IV Monochrome）を変更します。

GR WORLD は iOS と Android™ に対応しています。App Store または Google Play™ からダウンロードしてください。対応 OS などの詳細は、ダウンロードサイトを参照してください。



メモ

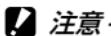
- GR WORLD のダウンロードと詳細は、下記アドレスを参照してください。

[https://www.ricoh-imaging.com/gr-world/
download/](https://www.ricoh-imaging.com/gr-world/download/)



- 通信端末と Bluetooth® で接続しているときに、アプリからの要求に応じて無線 LAN のオン／オフが切り替わります。
- 通信端末で利用する場合は、お使いの機器の使用説明書と GR WORLD のホームページを参照してください。
- アプリの画面は、ご使用のカメラや通信端末の OS、アプリのバージョンによって異なります。また機能向上のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

5



注意

- 以下のときは、無線 LAN はオンになりません。
 - モード
 - USB 接続中
 - メニュー [無線通信設定] が [オフ] のとき
 - メニュー [機内モード] が [オン] のとき

画像を共有する

通信端末と接続する

カメラと通信端末を Bluetooth® で接続します。あらかじめ通信端末に RICOH GR シリーズ専用アプリ「GR WORLD」をインストールしておきます。

1 通信端末の Bluetooth® 設定をオンにする

2 通信端末で GR WORLD を起動する

3 アプリのホーム画面で [新しいカメラを登録する] をタップする

4 [GR IV Monochrome] を選択し、[初めて] をタップする

5 6メニュー [無線通信設定] で ▶ を押す

[無線通信設定] 画面が表示されます。

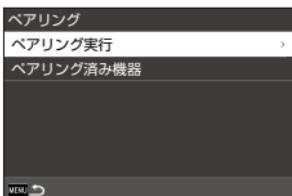
6 [動作モード] を選択し、▶ を押す



7 [オン] を選択し、OK を押す

8 [ペアリング] を選択し、▶ を押す

9 [ペアリング実行] を選択し、▶ を押す



10 アプリで [カメラを検索する] をタップする

カメラの [デバイス名] が表示されます。

11 カメラの [デバイス名] をタップする

カメラとアプリに [認証コード] が表示されます。

12 表示された認証コードが一致していることを確認し、アプリで [ペアリング] または [OK] をタップする

13 カメラで OK を押す

カメラと通信端末でペアリングが行われ、ペアリング完了画面が表示されます。

通信端末と Bluetooth® で接続されると、接続状態のアイコンに変わります。





注意

- 以下のときは、ペアリングできません。
 - USB 接続中
 - 6 メニュー [無線通信設定] が [オフ] のとき
 - 6 メニュー [機内モード] が [オン] のとき
- 無線接続使用時は、使用する国の法律を遵守してください。
- 航空機内など、無線通信機能が使用できない場所では 6 メニュー [機内モード] を [オン] に設定してください。



メモ

- 撮影した画像は、2 メニュー [転送] で転送予約を設定し、通信端末に転送します。(p.104) 撮影した画像に自動的に転送予約を設定することもできます。(p.121) アプリで [画像取り込み] をタップすると、無線 LAN で接続後に転送が開始されます。
- 手順 6 の画面で [ペアリング済み機器] を選択すると、ペアリングが成功した通信端末の名称が表示されます。この画面で Fn を押すと、ペアリングを削除できます。最大 6 台の通信端末とペアリングができます。
- 手順 3 の画面で [通信情報] を選択すると、カメラの [デバイス名] が表示されます。
- RICOH GR シリーズ専用アプリで周波数帯域を変更することができます。

無線 LAN について

- 国により使用できる周波数帯が異なります。
- 5GHz 帯は、国によって屋外での利用に制限があります。
- 日本国内では、無線 LAN の 5.2GHz 帯 (W52) を屋外で使用しないでください。5.2GHz 帯 (W52) の屋外使用は法律により禁止されています。屋外では、2.4GHz 帯をご使用ください。

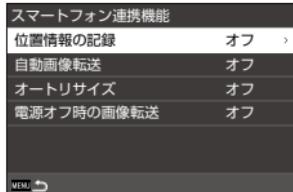
連携する機能を設定する

通信端末と連携する機能を選択します。

- 1**  6メニュー [スマートフォン連携機能] を選択し、▶を押す

[スマートフォン連携機能] 画面が表示されます。

- 2** 連携する機能を選択し、▶を押す



以下の機能が設定できます。

位置情報の記録	通信端末の位置情報を画像に記録します。
自動画像転送	撮影後の画像を自動的に転送待ち状態にします。転送するファイル形式を選択します。
オートリサイズ	[オン] に設定すると、転送する画像の [JPEG 記録サイズ] を [XS] にリサイズして転送します。
電源オフ時の画像転送	画像転送中にカメラの電源をオフにした場合に、転送を継続するかどうかを設定します。

- 3** [オン] を選択し、OKを押す

手順 2～3を繰り返します。

- 4** MENUを2回押す

よく使う設定値を登録する

モードダイヤル **U1** / **U2** / **U3** には、撮影設定を登録して利用できます。

現在の設定を登録する方法と、設定をセッティングボックスに保存しておいて呼び出して登録する方法があります。

以下の機能が登録できます。

- ・露出モード
- ・露出補正
- ・**REC** / **C** メニューの設定（一部を除く）

6

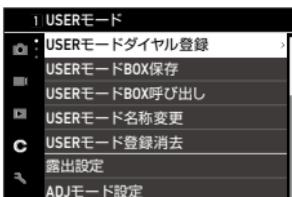
現在の設定を登録する

設定を変更する

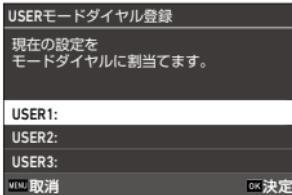
現在の設定をモードダイヤルに登録します。

1 登録する露出モードと機能をすべて設定する

2 **C1**メニュー [USER モードダイヤル登録] を選択し、**▶**を押す
[USER モードダイヤル登録] 画面が表示されます。



3 [USER1] ~ [USER3] を選択し、
OKを押す



4 登録名称を入力するかどうか選択し、OK を押す

[入力する] を選択した場合は、文字入力の画面が表示されます。

[入力しない] を選択した場合は、手順 7 に進みます。

5 設定の名称を入力する

半角 32 文字以内で英数字・記号を入力します。



以下の操作ができます。

▲▼◀▶	文字選択カーソルを移動
↶ / ↽	文字選択カーソルを上下に移動
↶ ↽	文字選択カーソルを左右に移動
OK / ADJ	文字選択カーソルが選択している文字を入力

タッチパネルで操作することもできます。

6 文字が全部入力できたら文字選択カーソルを ← まで移動し、OK を押す

登録の確認画面が表示されます。

7 内容を確認し、OK を押す

C 1 メニューに戻ります。

◆ メモ -----

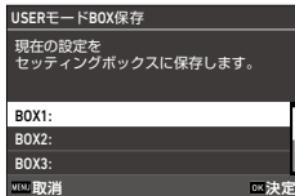
- ・名称を入力しなかったときは、登録時の日時が名称になります。
- ・USER モードの名称を変更するときは、C 1 メニュー [USER モード名称変更] を選択します。
- ・USER モードの設定を消去する場合は、C 1 メニュー [USER モード登録消去] を選択します。

セッティングボックスを利用する

セッティングボックスに設定を保存する

6 通りの設定を「BOX」に保存します。

- 1 登録する露出モードと機能をすべて設定する
- 2 C1メニュー [USER モード BOX 保存] を選択し、▶を押す
[USER モード BOX 保存] 画面が表示されます。
- 3 [BOX1] ~ [BOX6] を選択し、OKを押す



6

設定を
変更する

- 4 BOX の名称を入力するかどうか選択し、OKを押す
[入力する] を選択した場合は、「現在の設定を登録する」(p.122) の手順 5 ~ 6 を参照して入力します。
[入力しない] を選択した場合は、次の手順に進みます。
- 5 OKを押す
C1メニューに戻ります。

設定をモードダイヤルに割り当てる

BOX の設定をモードダイヤルに割り当てます。

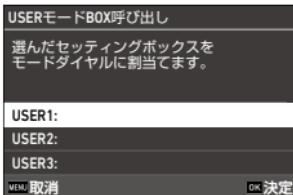
- 1** **C1** メニュー [USER モード BOX 呼び出し] を選択し、▶を押す

[USER モード BOX 呼び出し] 画面が表示されます。

- 2** [BOX1] ~ [BOX6] を選択し、OK を押す

- 3** 設定を登録するモードダイヤル

USER1 (U1) / USER2 (U2) /
USER3 (U3) を選択する



- 4** OK を押す

BOX の設定値がモードダイヤルに割り当てられます。

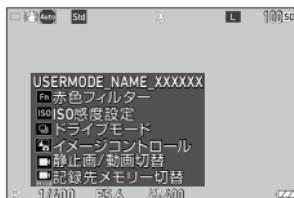
6

設定を変更する

USER モードを利用する

1 撮影モードで、モードダイヤルを U1 / U2 / U3 に合わせる

撮影画面に USER モードのガイドが表示されます。

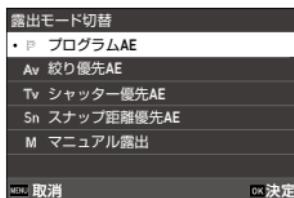


2 必要に応じて設定を変更する

露出モードを変更する場合は、2 メニュー [露出モード切替] で変更します。

6

設定を
変更する



メモ

- 手順 2 で変更した設定は、カメラに記憶されません。モードダイヤルを切り替えると、登録済みの設定に戻ります。設定を変更する場合は、[USER モード BOX 保存] をやり直してください。
- モードダイヤルに割り当てた BOX の設定を変更すると、モードダイヤルの設定も変更されます。

ボタンをカスタマイズする

露出モードのダイヤル操作を変更する

各露出モードで \wedge / \vee / \star を操作したときに変更する露出設定を登録します。

1 C2メニュー [露出設定] を選択し、▶を押す

[露出設定] 画面に現在の \wedge / \vee / \star の機能が表示されます。

2 設定を変更する露出モードを選択し、▶を押す



3 \wedge / \vee / \star を操作したときに変更する設定を選択する

4 OKを押す

設定が変更され、手順 2 の画面に戻ります。

ADJ モードに機能を登録する

ADJ (\vee) を押し込んで機能を簡単に利用する「ADJ モード」の設定を変更します。

以下の撮影機能から、5 つの機能が登録できます。([] は初期設定)

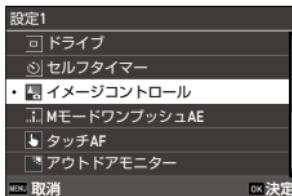
- ・オフ
- ・フォーカス [設定 2]
- ・フォーカスリミッター
- ・スナップ撮影距離
- ・記録形式 [設定 4]
- ・アスペクト比 [設定 5]
- ・クロップ
- ・JPEG 記録サイズ
- ・測光モード [設定 3]
- ・ISO 感度設定
- ・フラッシュモード
- ・フラッシュ発光量
- ・ドライブ
- ・セルフタイマー
- ・イメージコントロール [設定 1]
- ・M モードワンプッシュ AE
- ・タッチ AF
- ・アウトドアモニター
- ・フレームレート

1 **C2** メニュー [ADJ モード設定] を選択し、**▶** を押す
[ADJ モード設定] 画面が表示されます。

2 [設定 1] ～ [設定 5] を選択し、**▶** を押す



3 登録する機能を選択し、**OK** を押す
設定が変更され、手順 2 の画面に戻ります。



注意

- ・[ADJ モード設定] で変更した設定が有効となるのは、**CAMERA** モードのときのみです。**REC** モードのときは、[イメージコントロール] [フォーカス] [測光モード] [フレームレート] [アウトドアモニター] が登録されており、変更できません。

メモ

- ・ADJ モードの使い方は、「ADJ モードで設定する」(p.24) を参照してください。

Fn ボタンの機能を変更する

[Fn] と ▼ / ◀ / ▶ / □ を押したときの機能を変更します。
以下の撮影機能から、各ボタンに登録ができます。([] は初期設定)

- ・オフ
- ・フォーカス
- ・MF 切替
- ・スナップ切替
- ・追尾 AF 切替
- ・AF 作動 ^{*1 *2}
- ・AF 作動 +AE ロック ^{*1 *2}
- ・AE ロック ^{*1 *2}
- ・顔 / 瞳検出
- ・フォーカスリミッター
- ・スナップ撮影距離
- ・記録先メモリ一切替
[動画ボタン長押し]
- ・記録形式
- ・JPEG → RAW
- ・JPEG → RAW+
- ・アスペクト比
- ・クロップ
- ・JPEG 記録サイズ
- ・フレームレート
- ・静止画 / 動画切替 [動画ボタン]
- ・測光モード
- ・ISO 感度設定 [ISO ボタン]
- ・フラッシュモード
- ・フラッシュ発光量
- ・ドライブモード [ドライブボタン]
- ・ドライブ
- ・連続撮影
- ・セルフタイマー
- ・赤色フィルター [Fn ボタン]
- ・イメージコントロール [イメージコントロールボタン]
- ・Shake Reduction
- ・M モードワンプッシュ AE ^{*1 *2}
- ・十字キー動作切替
- ・タッチ AF
- ・アウトドアモニター
- ・スリープ作動
- ・機内モード ^{*3}
- ・プレビュー ^{*3}

*1 ボタンを押したときの動作を設定できます。

*2 [動画ボタン] [動画ボタン長押し] には登録できません。

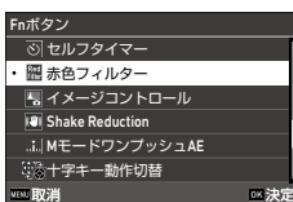
*3 [動画ボタン長押し] のみに登録できます。

1 C2メニュー [Fnボタン設定] を選択し、▶を押す
[Fnボタン設定] 画面が表示されます。

2 変更するボタンを選択し、▶を押す



3 登録する機能を選択し、OKを押す
設定が変更され、手順2の画面に戻ります。



4 詳細設定が必要な機能を割り当たたときは、Fnを押す

5 ボタンを操作したときの動作を設定する



以下の機能を割り当てたときに設定ができます。

AF 作動	[フォーカス設定] でボタンを押したときの動作を、[シャッターボタンと同じ] [オートエリア AF] [ゾーンセレクト AF] [セレクト AF] [ピンポイント AF] [追尾 AF] [コンティニュアス AF] から選択します。
AE ロック	[AE ロック維持] を設定します。[オン] は、ボタンを押すたびに AE ロックのオン／オフが切り替わります。[オフ] は、ボタンを押している間だけ AE ロックされます。(p.54)
M モードワンプッシュ AE	M モード時にボタンを押して適正露出に調整するモードを、[プログラム AE] [絞り優先 AE] [シャッター優先 AE] から選択します。(p.56)

6 OK を押す

手順 2 の画面に戻ります。

■ 注意

- に、[AF 作動] [AF 作動 +AE ロック] [AE ロック] [M モードワンプッシュ AE] は割り当てられません。

◆ メモ

- 電源をオンにしたときやモードダイヤルを回したときに、現在のボタンの機能が表示されます。2 メニュー [ガイド表示] を [オフ] に設定すると、表示されません。

シャッターボタンの動作を設定する

SHUTTER を押したときの動作を **C2** メニューで設定できます。

シャッターボタン設定	SHUTTER 半押し時の動作を [AF 作動 + AE ロック] [AE ロック] [AF 作動] から設定します。
シャッターボタン確定	ADJ モードなどで撮影画面で機能を設定したときに、 SHUTTER 半押して設定を終了するかどうかを設定します。 Fn で AF を作動させたときも、この設定が適用されます。 [オン] : SHUTTER 半押して設定終了 [オフ] : SHUTTER 半押し解除後に、設定画面に戻る

■ カメラに保存する設定を選択する

本機で設定した機能や設定値は、ほとんどが電源を切っても記憶されています。以下の機能は、電源を切ったときに記憶する（オン）か初期設定に戻す（オフ）かを選択できます。

- ISO 感度設定
- 露出補正
- プログラムオートEx
- フォーカス
- マクロモード
- フォーカスリミッター
- フォーカスアシスト
- 測光モード
- フラッシュモード
- フラッシュ発光量
- 静止画 / 動画切替
- ドライブ
- セルフタイマー
- ローパスセレクター
- 赤色フィルター
- アスペクト比
- クロップ
- イメージコントロール
- ADJ モード設定
- 撮影時表示設定
- 再生時表示設定
- 再生対象画像
- アウトドアモニター

C2 メニュー [モードメモリ] で設定します。

ADJ でオン／オフを切り替えます。



◆ メモ

- 11 メニュー [初期化] を実行すると、モードメモリの設定も初期設定に戻ります。

■ 表示と音の設定

撮影時／再生時の表示情報を設定する

撮影モードまたは再生モードで **DISP** を押して表示を切り替えたときに、表示する情報を設定します。

- 1 C3 メニュー** [撮影時表示設定] [再生時表示設定] を選択し、
▶を押す

[撮影時表示設定] 画面、または [再生時表示設定] 画面が表示されます。
[再生時表示設定] は、手順 3 に進みます。

- 2 ◀▶で [画面表示] を選択し、**ADJ** で各表示モードのオン／オフを切り替える**

[標準情報表示] [簡易情報表示] [情報表示なし] [画像モニターオフ] の表示モードが設定できます。



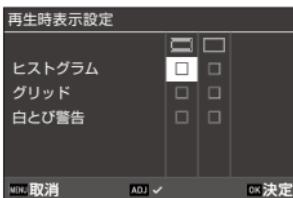
チェックマークが付いていない表示モードは、撮影モードで **DISP** を押しても表示されません。必ず 1 つ以上をオンに設定してください。

- 3 ▲▼◀▶で表示項目を選択し、**ADJ** でオン／オフを切り替える**

[撮影時表示設定]

ヒストグラム	ヒストグラムを表示します。
グリッド	グリッド線を表示します。
白とび警告	撮影時に白とびになることが予想される部分を赤で点滅表示します。
電子水準器	カメラの傾きを確認するインジケーターを表示します。

[再生時表示設定]



ヒストグラム	画像のヒストグラムを表示します。
グリッド	グリッド線を表示します。
白とび警告	白とびとなった部分を赤で点滅表示します。

4 OK を押す

クイックビューの表示を設定する

撮影直後に画像を表示する「クイックビュー」時の表示内容を、C3メニュー【クイックビュー】で設定できます。



表示時間	クイックビューの表示時間を設定します。 [HOLD] に設定すると、次に SHUTTER 半押しなどの操作を行なうまで画像が表示されます。
拡大表示	クイックビュー中に ⌂ 右 / ADJ. / + で拡大表示ができます。
消去	クイックビュー中に □ で画像を消去できます。

クイックビューまたは再生モードの1画像表示でクイック拡大したときの最初の倍率は、C3メニュー【クイック拡大】で設定できます。[x4] [x8] [x16] [100%] から選択します。

ライブビューの表示を設定する

ライブビューの表示について、**C 3**メニューで以下の設定ができます。

3 表示カスタマイズ	
● クイックビュー	0.5秒
● クイック拡大	100%
● 測距位置拡大	オン
● グリッドの種類	
C 電子水準器の種類	
● 電子水準器のデザイン	Type1
● フリッカー低減	50Hz

グリッドの種類	グリッド線を表示するときの種類を [9分割] [16分割] から選択します。
電子水準器の種類	水平方向だけの水準器を表示するか、アオリ（前後）方向も表示するか選択します。
電子水準器のデザイン	[Type1]：画面下にバーを表示 [Type2]：画面下に目盛りを表示 [Type3]：画面中央にバーを表示
フリッカー低減	電源周波数を設定し、ライブビューのちらつきを低減させます。

6

設定を変更する

画像モニターの明るさと色みを設定する

画像モニター設定

3メニュー [画像モニター設定] で、[明るさ] [彩度] [ブルー / アンバー調整] [グリーン / マゼンタ調整] ができます。



アウトドアモニター

屋外などで撮影する場合に画像モニターの表示が見にくいときは、3メニュー【アウトドアモニター】で明るさを調節します。



メモ

- C2メニュー【ADJ モード設定】に登録できます。(p.127)

ランプを設定する

4メニューで、ランプの点灯について設定ができます。



6

設定を
変更する

電源ボタンランプ	電源がオンのときに、電源ボタンランプを点灯させるかどうか設定します。
カウントダウン	[ドライブモード] の【セルフタイマー】を使用して撮影するときのセルフタイマーランプの点滅を設定します。

電子音を設定する

5メニューで、電子音の設定ができます。



電子音	[すべて鳴らす]：シャッター音、合焦音、カウントダウンのタイマー音、無線 LAN のオン／オフ切り替え音を鳴らします。 [シャッター音のみ鳴らす]：シャッター音だけを鳴らします。
音量	電子音の音量を設定します。[0] に設定すると、電子音は鳴りません。

6

設定を変更する

省電力の設定

自動的に電源をオフにする

一定時間カメラを操作しなかったときに、自動的に電源をオフにします。メニュー [オートパワーオフ] で [1分] [3分] [5分] [10分] [30分] [オフ] が設定できます。

復帰するときは、電源ボタンまたは  を押します。



メモ

- 以下のときは、[オートパワーオフ] は働きません。
 - 動画撮影中／再生中
 - [ドライブモード] の [インターバル撮影] [インターバル合成] 撮影中
 - 処理中
 - 画像転送中
 - パソコン接続中
 - GR WORLD 接続中

画像モニターの輝度を落とす

カメラを操作しなかったときに、画像モニターの輝度を落とします。  メニューで以下の設定できます。

7 電源設定	
■	オートパワーオフ 1分
■	スリープ 30秒 >
■	画像モニター節電 オン
■	情報表示
C	認証マーク
■	ピクセルマッピング
■	ダストリムーバル

スリープ	一定時間カメラを操作しなかったときに、画像モニターが消灯します。スリープ中は、ステータスランプが点灯します。 [3秒] [10秒] [30秒] [1分] [3分] [5分] [10分] [30分] [オフ] が設定できます。
画像モニター節電	カメラを約5秒間動かさなかったときに、画像モニターの輝度を落とします。 [オン] [オフ] が設定できます。

6

設定を変更する

カメラを操作すると、元の輝度に戻ります。



メモ

- **C2メニュー** [Fnボタン設定] (p.129) で [スリープ作動] を登録しておくと、ボタンを押したときに、すぐにスリープになります。
- 以下のときは、[スリープ] は働きません。
 - ・ [ドライブモード] の [インターバル撮影] [インターバル合成] 撮影中
 - ・ 動画撮影中／再生中
 - ・ AV機器接続中
 - ・ GR WORLD接続中
- 以下のときは、[画像モニター節電] は働きません。
 - ・ [ドライブモード] の [インターバル撮影] [インターバル合成] 撮影中
 - ・ クイックビュー中
 - ・ 再生モード中
 - ・ AV機器接続中

■ 画像管理に関する設定

フォルダー／ファイルを設定する

ファイル名とフォルダーナーは初期設定では、以下の名前が自動的に付きます。

ファイル名	R0000001.JPG ~ R0999999.JPG
フォルダーナー	100 ~ 999

ファイル名の番号が R0**9999 を超えると次のフォルダーが作成され、ファイル番号は R0**0001 になります。フォルダー番号が 999 のときは、ファイル番号が R0**9999 を超えると、そのメモリーカードでは記録できなくなります。

ファイル名／フォルダーナーの付け方を変更します。

フォルダー新規作成

▲ 1 メニュー [フォルダー新規作成] を選択すると、次の画像の保存時に新たな番号のフォルダーを作成します。

▣ 注意 -----

- 複数のフォルダーを続けて作成することはできません。

◆ メモ -----

- [ドライブモード] の [インターバル撮影] [インターバル合成] の撮影時は、自動的に新しいフォルダーが作成されます。

フォルダーネーム

本機で撮影を行うと、フォルダーが自動的に作成されて画像が保存されます。フォルダーネームには、100～999の連番と5文字の文字列が付きます。

フォルダーネームの文字列を変更します。

1  1メニュー [フォルダーネーム] を選択し、▶を押す

[フォルダーネーム] 画面が表示されます。

2 [フォルダーネーム] で [日付] [任意] を選択する



6

設定を変更する

日付	フォルダーネームの後ろに撮影した月日が4桁で付きます。 月日は  10メニュー [日時設定] の表示スタイルに準じます。 例) 101_0125・・・1月25日に撮影
任意	フォルダーネームの後ろに任意の5文字が付きます。 (初期設定: RICOH) 例) 101RICOH

[日付] を選択した場合、または文字列を変更しない場合は、手順6へ進みます。

3 ▼を押して [任意文字入力] を選択し、▶を押す

文字を入力する画面が表示されます。

4 フォルダーネームを入力する

半角5文字内で英数字を入力します。



以下の操作ができます。

▲▼◀▶	文字選択カーソルを移動
↖ / ↘	文字選択カーソルを上下に移動
↖ ↘	文字選択カーソルを左右に移動
OK / ADJ	文字選択カーソルが選択している文字を入力

タッチパネルで操作することもできます。

5 文字が全部入力できたら文字選択カーソルを ← まで移動し、OK を押す

登録の確認画面が表示されます。

6 内容を確認し、OK を押す

手順2の画面に戻ります。

メモ

- フォルダーネームを変更すると、次の撮影時に新たな番号のフォルダーが作成されます。

注意

- フォルダーネームは最大999番です。999番フォルダーが作成済みのときに、フォルダーネームの変更やフォルダー新規作成などを行うと、撮影ができなくなります。またファイル番号が9999に達したときも、撮影ができなくなります。

ファイル名

ファイル名の先頭には、**4** メニュー [色空間] (p.87) の設定によって静止画には以下の文字列が付きます。

色空間	ファイル名
sRGB	R0*****.JPG
AdobeRGB	_R*****.JPG

先頭の 2 文字「R0」を任意の文字列に変更します。

1 **1** メニュー [ファイル名] を選択し、**▶** を押す
[ファイル名] 画面が表示されます。

2 **◀▶** で **1** / **■** を選択し、**▲▼**
で文字列を指定する

アルファベット大文字と数字、「_」が指
定できます。



6

設定を
変更する

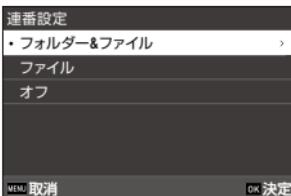
3 **OK** を押す

メモ -----

- ・[色空間] が [AdobeRGB] の場合はファイル名の先頭は「_」となり、指定した文字列の先頭 1 文字がファイル名になります。

連番設定

新しいフォルダーが作成されたときやメモリーカードを入れ替えたときに、フォルダーファイル番号を継続するかどうかを、1メニュー【連番設定】で設定できます。



連番設定	フォルダーカット 替わり時	メモリカード入れ替え時	
	ファイル番号	フォルダーファイル番号	ファイル番号
フォルダーアンドファイル	継続	継続	継続
ファイル	継続	リセット	継続
オフ	リセット	リセット	リセット

連番リセット

1メニュー【連番リセット】を実行すると、次の撮影時に新たな番号のフォルダーが作成され、ファイル番号が0001から開始されます。



メモ

- ファイル番号が9999に達すると、フォルダーが新規に作成され、ファイル番号がリセットされます。
- メモリーカードがセットされていないときは、内蔵メモリーのファイル番号がリセットされます。

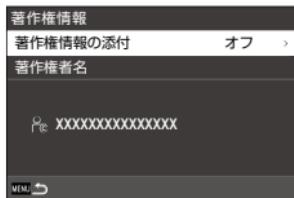
著作権情報を設定する

画像の Exif データに記録する著作権者の情報を設定します。

1  [著作権情報] を選択し、 を押す

[著作権情報] 画面が表示されます。

2 [著作権情報の添付] で [オン] [オフ] を選択し、 を押す



3 [著作権者名] で  を押す

文字を入力する画面が表示されます。

6

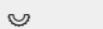
4 著作権者名を入力する

半角 32 文字以内で英数字・記号を入力します。

設定を変更する



以下の操作ができます。

	文字選択カーソルを移動
	文字選択カーソルを上下に移動
	文字選択カーソルを左右に移動
	文字選択カーソルが選択している文字を入力

タッチパネルで操作することもできます。

5 文字が全部入力できたら文字選択カーソルを **←** まで移動し、
OK を押す

登録の確認画面が表示されます。

6 内容を確認し、**OK** を押す

手順 2 の画面に戻ります。



メモ

- Exif 情報は、再生モードの [詳細情報表示] (p.21) で確認できます。

別売り品の取り付け

コンバージョンレンズ／レンズアダプター

ワイドコンバージョンレンズ（GW-4）／レンズアダプター（GA-3）を使用するときは、リングキャップを取り外します。

別売り品の取り扱いは、製品に付属の使用説明書を参照してください。

リングキャップの取り外し方

カメラの電源がオフの状態で、リングキャップを反時計回りに回して取り外します。コンバーターピン（①）には触らないように注意してください。

レンズアダプターを取り外すときも、反時計回りに回転させてください。



リングキャップの取り付け方

カメラの電源がオフの状態で、カメラ本体の目印②にリングキャップの目印③を合わせ、「カチッ」と音がする位置まで時計方向に回します。

! 注意

- レンズアダプターは、必ずGA-3を使用してください。それ以外のものを使用すると、製品本来の光学性能が得られません。

困ったときは

電源

症状	原因	処置	参照先
電源が入らない	バッテリーがセットされていない	バッテリーを充電し、正しくセットしてください。	p.42
	バッテリー消耗している		
	バッテリーの挿入方向が違う		
	使用できないバッテリーを使用している	専用バッテリー(DB-120)を使用してください。	
	ACアダプターが正しく接続されていない	正しく接続してください。	
電源が途中で切れる	操作しない時間が続いたため、[オートパワー オフ]が働いた	電源を入れ直してください。	p.44
	バッテリーが消耗している	バッテリーを充電してください。	
電源がオフにならない	カメラの誤作動	バッテリーをセットし直してください。	p.40
十分に残量があるバッテリーなのに残量が少ないマークが表示される、または電源がオフになる	使用できないバッテリーを使用している	専用バッテリー(DB-120)を使用してください。	—
バッテリーが充電できない	バッテリーの故障	新しいバッテリーに交換してください。	—
	バッテリーが高温になっている	バッテリーを常温まで冷ましてください。	—

症状	原因	処置	参照先
バッテリーの消耗が早い	温度が極端に低いまたは高いところで使用している	—	—

撮影

症状	原因	処置	参照先
SHUTTER を押しても撮影できない	バッテリーが消耗している	バッテリーを充電してください。	p.42
	電源が入っていない、または撮影モードになっていない	電源をオンにするか、 SHUTTER を押して撮影モードにしてください。	p.44
	メモリーカードがフォーマットされていない	▲1 メニュー [フォーマット] を実行してください。	p.46
	メモリーカードに空き容量がない	不要なファイルを削除するか、新しいカードをセットしてください。	p.98
	メモリーカードの寿命	新しいカードをセットしてください。	—
	メモリーカードの接触面が汚れている	乾いた柔らかい布で拭き取ってください。	—
撮影画像を確認できない	画像確認時間が短い	▲3 メニュー [クイックビュー] の [表示時間] を変更してください。	p.135
画像モニターに映らない	画像モニターが暗い	▲3 メニューで画像モニターの明るさを調整してください。	p.136
	画像モニターがオフになっている	DISP を押して、画像モニターをオンしてください。	p.20
	AV 機器と接続している	ケーブルを取り外してください。	p.97

症状	原因	処置	参照先
オートフォーカスなのにピントが合わない	レンズが汚れている	乾いた柔らかい布できれいに拭き取ってください。	—
	被写体が撮影範囲枠の中央にない	フォーカスロックで撮影してください。	—
	ピントが合いにくい被写体である	フォーカスロック、または [MF] で撮影してください。	p.65
	被写体との距離が近すぎる	マクロモードで撮影するか、被写体から離れて撮影してください。	p.66
手ぶれになる	SHUTTER を押したときに、カメラが動いた	両肘を身体に付けて構えたり、三脚を使用して撮影してください。	—
	薄暗い場所での撮影時には、シャッター速度が遅くなり、手ぶれしやすくなる	フラッシュを使用するか、[ISO 感度設定] を高く設定してください。	p.71 p.70
フラッシュが発光しない	フラッシュが使用できない機能を選択している	設定やモードを確認してください。	—
フラッシュが発光したのに画像が暗い	被写体が黒っぽい	フラッシュの光量を調節してください。	p.72
	フラッシュの光量が適切でない		

症状	原因	処置	参照先
画像が明るすぎる	フラッシュの光量が適切でない	フラッシュの光量を調整するか、被写体から少し離れて撮影してください。 または、被写体に照明などを当ててフラッシュを使用しないで撮影してください。	p.72
	画像モニターの明るさが適切でない	▲3メニューで画像モニターの明るさを調整してください。	p.136
画像が暗すぎる	画像モニターの明るさが適切でない	▲3メニューで画像モニターの明るさを調整してください。	p.136
	露出補正がマイナスに設定されている	露出補正を変更してください。	p.53
AF動作中、画像モニターの明るさが変化する	オートフォーカス範囲と周囲の明るさが異なるとき、または暗いところで使用している	故障ではありません。	—
電子水準器が表示されない	電子水準器が表示されない設定になっている	●3メニュー【撮影時表示設定】を確認してください。	p.134
電子水準器の目盛りが中央を指している状態で撮影したのに、画像が傾いている	乗り物に乗っているなど、動いている状態で撮影している	停止している状態で撮影してください。	—
	被写体自体が傾いている	被写体を確認してください。	—

症状	原因	処置	参照先
日付などの記録情報が表示されない	画面表示が【情報表示なし】になっている	DISP を押して表示を切り替えます。	p.20
画像にゴミが写り込む	センサーに汚れやほこりが付着している	⑨メニュー【ダストリムーバル】を実行してください。 電源のオン／オフ時に毎回作動させることもできます。	—
撮影画像に、欠けや常時点灯する箇所がある	センサーの画素に欠けがある	⑨メニュー【ピクセルマッピング】を実行してください。 補完処理は 30 秒ほどがかかるので、十分に充電したバッテリーを使用してください。	—
AV 機器に映らない	ケーブルが正しく接続されていない	正しい手順で接続してください。	p.97
	AV 機器の入力切り替えが間違っている	AV 機器の設定を確認してください。	—
メモリーカードが再生できない 再生画面が出ない	本カメラでフォーマットしていないメモリー	本カメラで ①メニュー【フォーマット】を実行したメモリーカードをセットしてください。	p.46
	カードを再生した		
	メモリーカードの接触面が汚れている	乾いた柔らかい布で拭き取ってください。	—
使用中のメモリーカードに異常がある		別のメモリーカードが再生できれば、カメラは問題ありません。異常があるカードは使用しないでください。	—

症状	原因	処置	参照先
画面が消えた	バッテリーが消耗している	バッテリーを充電してください。	p.42
	操作しない時間が続いたので、[オートパワー オフ] が働いた	電源を入れ直してください。	p.44
ファイルを削除できない	[プロテクト] が設定されている	■2 メニュー [プロテクト] で解除してください。	p.100

その他

症状	原因	処置	参照先
メモリーカードが入らない	挿入方向が違う	正しくセットしてください。	p.40
	バッテリーが消耗している	バッテリーを充電してください。	p.42
カメラのボタンを操作しても動作しない	カメラの誤作動	電源を入れ直してください。	p.44
		バッテリーをセットし直してください。 AC アダプター使用時は接続し直してください。	p.40
日付が正しくない	正しい日付・時刻が設定されていない	■10 メニューで設定し直してください。	p.45
設定した日付が消えてしまった	バッテリーを抜いてしまった	バッテリーを取り出した状態が約 5 日間以上続くと、日付がリセットされます。 ■10 メニューで設定し直してください。	p.45

エラーメッセージ

エラーメッセージ	内容
カードの空き容量がありません。	メモリーカードの容量いっぱいに画像が保存されていて、これ以上画像が保存できません。新しいメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。(p.98)
内蔵メモリーの空き容量がありません。	内蔵メモリーの容量いっぱいに画像が保存されていて、これ以上画像が保存できません。メモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。(p.98)
画像がありません。	メモリーカード／内蔵メモリーに再生できる画像が保存されていません。
カードが入っていません。	メモリーカードがセットされていません。
カードが異常です。	メモリーカードの異常で、撮影／再生ともにできません。パソコンでは表示できる場合があります。
内蔵メモリーが異常です。	内蔵メモリーに異常があります。内蔵メモリーをフォーマットしてください。(p.46)
カードがフォーマットされていません。	フォーマットされていないメモリーカードがセットされているか、他の機器で使用したメモリーカードがセットされています。本カメラでフォーマットしてから使用してください。(p.46)
このカードは利用できません。	本カメラが対応していないメモリーカードがセットされています。
画像を保存できませんでした。	メモリーカード／内蔵メモリーの異常で、撮影した画像が保存できません。
フォルダーが作成できません。	最大のフォルダー No. (999) が使用されているため、画像が保存できません。新しいメモリーカードをセットするか、メモリーカード／内蔵メモリーをフォーマットしてください。(p.46)
この画像を表示できません。	本カメラで再生できない画像を再生しようとしています。パソコンでは表示できる場合があります。

エラーメッセージ	内容
この画像を拡大表示できません。	拡大できない画像を拡大表示しようとしています。
この画像を処理できません。	他のカメラで撮影した画像に対して ■3 メニューの機能を実行した場合、または最小サイズの画像に対して [リサイズ] [トリミング] を実行した場合に表示されます。
この機能は複数の画像をまとめて処理できません。	1 画像ずつ設定してください。
このモードでは設定することができません。	■ モードに切り替えて設定し直してください。 または ▲6 メニュー [機内モード] を [オフ] に設定してください。
USER モード以外では設定することができます。	モードダイヤルを U1 / U2 / U3 に変更してから設定してください。
カメラが高温になりました。電源をオフします。	カメラ内部が高温になったため、電源が切れます。しばらくしてから電源を入れてください。
アップデートに失敗しました。	アップデートが正しく実行されませんでした。カメラの電源を入れ直して、再度アップデートを実行してください。
ファイルが壊れているためアップデートを行えません。	アップデートファイルが不正です。アップデートファイルをダウンロードし直して、アップデートを実行してください。
電池容量が足りないためピクセルマッピングを行えません。	各機能を実行時にバッテリー容量が足りない場合に表示されます。十分に充電したバッテリーを使用してください。
電池容量が足りないためアップデートを行えません。	
電池容量が足りないため出荷時初期化を行えません。	

エラーメッセージ	内容
ペアリングを実行できません。動作モードを確認してください。	Bluetooth® でペアリングができませんでした。設定を確認してください。(p.118)
ペアリングを実行できません。機内モードを確認してください。	
USB 接続中のためペアリングを実行できません。	

■ 主な仕様

カメラ本体

レンズ	レンズ構成	5群7枚（非球面レンズ3枚）
	焦点距離・F値	18.3mm（35ミリ判換算で約28mm相当）、F2.8～F16
撮像部	撮像素子	種類：モノクロ／CMOS サイズ：23.3mm×15.5mm
	有効画素数	約2574万画素
	感度（標準出力感度）	ISO 160～ISO 409600：オート（下限値／上限値／低速限界値設定可能）、マニュアル
	手ぶれ補正	撮像素子シフト方式（Shake Reduction）（5軸補正）
	ローパスセレクター	SRユニットを用いたモアレ低減機能（オフ、弱、強）
	ダストリムーバル	超音波振動による撮像素子クリーニング機能（DR II）

記録形式	静止画	<p>ファイル形式:RAW (DNG) 14bit、JPEG (Exif 2.3 準拠)、DCF2.0 準拠</p> <p>色空間:sRGB、AdobeRGB</p> <p>記録サイズ:</p> <ul style="list-style-type: none"> [3:2] L (26M : 6192 × 4128) M (16M : 4944 × 3296) S (8.2M : 3504 × 2336) XS (2.5M : 1920 × 1280) [4:3] L (23M : 5504 × 4128) M (15M : 4400 × 3296) S (7.3M : 3120 × 2336) XS (2.8M : 1920 × 1440) [1:1] L (17M : 4128 × 4128) M (11M : 3296 × 3296) S (5.5M : 2336 × 2336) XS (1.6M : 1280 × 1280) [16:9] L (22M : 6192 × 3480) M (14M : 4944 × 2784) S (6.9M : 3504 × 1968) XS (2.1M : 1920 × 1080)
動画		<p>ファイル形式: MPEG4 AVC / H.264 (MOV)</p> <p>記録サイズ: Full HD (1920 × 1080、60p / 30p / 24p)</p> <p>音声記録: 内蔵ステレオマイク</p> <p>記録時間: 最大 4GB または最長約 25 分、内部温度上昇時は自動終了</p>
記録媒体		<p>内蔵メモリー (約 53GB)、microSD / microSDHC / microSDXC メモリーカード (microSDHC、microSDXC メモリーカードは UHS-I 規格に対応)</p>

フォーカス	フォーカスタイプ	像面位相差検出およびコントラスト検出によるハイブリッド方式
	フォーカスマード	オートエリア AF、ゾーンセレクト AF、セレクト AF、ピンポイント AF、追尾 AF、コンティニュアス AF、MF、スナップ (0.3m、1m、1.5m、2m、2.5m、3.5m、5m、 ∞)、 ∞
	フォーカスリミッター	近距離、遠距離、オフ
	フルプレススナップ	シャッターボタン一気押し、画像モニタータッチによるピント位置固定撮影機能
	顔 / 瞳検出	オン、オートエリア AF のみ、オフ
	撮影距離範囲 (レンズ先端から)	標準：約 0.1m ~ ∞ マクロモード：約 0.06m ~ 0.15m
露出制御	露出モード	プログラム AE、絞り優先 AE、シャッター優先 AE、スナップ距離優先 AE、マニュアル露出
	測光モード	分割測光、中央重点測光、スポット測光、ハイライト重点測光
	シャッタースピード	1/4000 ~ 30 秒 (絞りによる制限 F2.8 : 1/2500 秒まで、F5.6 以上 : 1/4000 秒まで)、バルブタイマー (10 秒 ~ 20 分)、バルブ、タイム・電子シャッターにより 1/16000 秒まで設定可能
	露出補正	静止画撮影時 : ± 5 EV、1/3EV ステップ、動画撮影時 : ± 2 EV、1/3EV ステップ
ドライブモード	ドライブ	1コマ撮影、連続撮影、プラケット撮影、多重露出、インターバル撮影、インターバル合成
	セルフタイマー	10 秒、2 秒、オフ

撮影時機能	クロップ	オフ、35mm、50mm
	イメージコントロール	スタンダード、ソリッド、ソフト、ハイコントラスト、グレイン、HDR調、カスタム1、カスタム2、カスタム3 調整項目：キー、コントラスト、コントラスト（明部）、コントラスト（暗部）、シャープネス、シェーディング、明瞭度、調色、粒状感、HDR調効果（選択によって調整可能項目は異なります）
	ダイナミックレンジ補正	ハイライト補正、シャドー補正
	ノイズリダクション	長秒時ノイズ低減、高感度ノイズ低減
	自動水平補正	SR オン時：最大 1.0 度まで補正可能 SR オフ時：最大 1.5 度まで補正可能
	赤色フィルター	オン、オフ
	表示	拡大表示（4倍、16倍）、グリッド表示（9分割、16分割）、ヒストグラム表示、白とび警告、電子水準器

再生機能	再生方法	1 画像、マルチ画面表示（20 画面、48 画面）、拡大表示（最大 16 倍まで、等倍表示可、クイック拡大可）、ヒストグラム表示（Yヒストグラム）、グリッド表示（9 分割、16 分割）、白とび警告、画像の自動回転、フォルダー表示、撮影日別表示
	JPEG 画質調整	調整項目：明るさ、調色、コントラスト、シャープネス
	RAW 現像	RAW 画像選択：1 画像選択／複数画像選択／フォルダー選択／撮影日選択 RAW 現像パラメーター：JPEG 記録サイズ、アスペクト比、色空間、イメージコントロール、周辺光量補正、増減感、高感度ノイズ低減、シャドー補正
	編集機能	消去、プロテクト、回転、コピー、転送、リサイズ、トリミング（アスペクト比変更可、傾き修正可）、レベル補正、動画切出し、動画分割、動画フレーム画像 JPEG 保存
画像モニター	形式	3.0 型 TFT カラー LCD（アスペクト比 3：2）、約 103.7 万ドット、広視野角タイプ、エアギャップレス強化ガラス
	タッチパネル	静電容量方式
	調整	明るさ、彩度、ブルー／アンバー、グリーン／マゼンタ、アウトドアモニター：オート、マニュアル（± 2 ステップ）
無線 LAN 通信	準拠規格	2.4GHz：IEEE802.11 b/g/n/ax 5.2GHz：IEEE802.11 a/n/ac/ax
	使用周波数範囲	2.4GHz：2400MHz～2483.5MHz 5.2GHz：5150MHz～5250MHz
	通信帯域幅	2.4GHz：20MHz 5.2GHz：20/40/80 MHz
	セキュリティ	認証方式：WPA2™、WPA3™ 暗号化方式：AES

Bluetooth® 通信	準拠規格 使用周波数範囲	Bluetooth® v5.3 (Bluetooth Low Energy) 2400MHz～2483.5MHz
外部インターフェース	USB Type-C	充電式バッテリーへの充電／カメラ本体への電源供給 (AC アダプター使用時)、データ転送：MTP 方式、外部映像出力：DisplayPort™ over USB-C (DisplayPort Alternative Mode)
	ホットシュー	専用フラッシュに対応 発光方式：強制発光、赤目軽減強制発光、スローシンクロ、赤目軽減スローシンクロ フラッシュ発光量：AUTO、1/1、1/4
	レンズアダプターピン	あり
電源	使用電池	充電式バッテリー DB-120
	AC アダプター	USB Power Delivery 対応 AC アダプター、AC アダプター (K-AC166J、別売) ・本カメラは USB Power Delivery と互換性がありますが、USB Implementers Forum のロゴ認証には対応していません。
	電池寿命	撮影可能枚数：約 250 枚 ・満充電の充電式バッテリー使用、23°C、撮影枚数は CIPA 規格に準じた測定条件による目安ですが、使用条件により変わります。 再生時間：約 240 分 ・時間は当社の測定条件による目安であり、使用条件により変わります。
外形寸法・ 質量	外形寸法	約 109.4 (幅) × 61.1 (高) × 32.7 (厚) mm (操作部材、突起部を除く) レンズ部厚：31.3mm ボディ部厚：24.5mm
	質量	約 262g (バッテリー、microSD メモリーカード含む)、約 228g (本体のみ)
付属品	充電式バッテリー DB-120、USB ケーブル I-USB198、ハンドストラップ O-ST198	
言語	英語、日本語	

充電式バッテリー DB-120

公称電圧	3.85V
定格容量	1800mAh、6.93Wh
使用温度	0～40℃
保存温度	-20～45℃
本体外形寸法	40.9mm × 35.4mm × 10.75mm
質量	約 33g

記録可能枚数／時間

内蔵メモリー／メモリーカードのフォーマット別の記録可能枚数／時間（秒）の目安は、以下のとおりです。

静止画

7

付録

記録形式／JPEG 記録 サイズ	アスペクト比	焦点距離 *1	記録画素数	内蔵 メモリー 53GB	メモリーカード 64GB
L	3:2	—	26M : 6192 × 4128	2,911	3,267
	4:3	—	23M : 5504 × 4128	3,261	3,660
	1:1	—	17M : 4128 × 4128	4,338	4,869
	16:9	—	22M : 6192 × 3480	3,443	3,864
M	3:2	—	16M : 4944 × 3296	4,519	5,071
	4:3	—	15M : 4400 × 3296	5,103	5,728
	1:1	—	11M : 3296 × 3296	6,778	7,607
	16:9	—	14M : 4944 × 2784	5,355	6,011
S	3:2	—	8.2M : 3504 × 2336	8,853	9,936
	4:3	—	7.3M : 3120 × 2336	9,859	11,066
	1:1	—	5.5M : 2336 × 2336	13,146	14,754
	16:9	—	6.9M : 3504 × 1968	10,581	11,875
XS	3:2	—	2.5M : 1920 × 1280	27,114	30,431
	4:3	—	2.8M : 1920 × 1440	25,519	28,641
	1:1	—	1.6M : 1280 × 1280	39,439	44,264
	16:9	—	2.1M : 1920 × 1080	33,371	37,454

記録形式／JPEG 記録 サイズ	アスペクト比	焦点距離 *1	記録画素数	内蔵 メモリー 53GB	メモリー カード 64GB
RAW	3:2	28mm	26M : 6192 × 4128	937	1,051
		35mm	16M : 4944 × 3296	979	1,099
		50mm	8.2M : 3504 × 2336	1,018	1,142
	4:3	28mm	23M : 5504 × 4128	949	1,065
		35mm	15M : 4400 × 3296	985	1,106
		50mm	7.3M : 3120 × 2336	1,020	1,145
	1:1	28mm	17M : 4128 × 4128	974	1,094
		35mm	11M : 3296 × 3296	1,004	1,127
		50mm	5.5M : 2336 × 2336	1,030	1,156
	16:9	28mm	22M : 6192 × 3480	955	1,072
		35mm	14M : 4944 × 2784	990	1,111
		50mm	6.9M : 3504 × 1968	1,023	1,148
RAW+	3:2	28mm	26M : 6192 × 4128	708	795
		35mm	16M : 4944 × 3296	804	903
		50mm	8.2M : 3504 × 2336	913	1,025
	4:3	28mm	23M : 5504 × 4128	736	826
		35mm	15M : 4400 × 3296	826	927
		50mm	7.3M : 3120 × 2336	926	1,040
	1:1	28mm	17M : 4128 × 4128	796	893
		35mm	11M : 3296 × 3296	874	981
		50mm	5.5M : 2336 × 2336	957	1,074
	16:9	28mm	22M : 6192 × 3480	747	839
		35mm	14M : 4944 × 2784	835	938
		50mm	6.9M : 3504 × 1968	932	1,047

*1 35 ミリ判換算値

動画

記録サイズ	アスペクト比	フレーム レート	記録画素数	内蔵 メモリー 53GB	メモリー カード 64GB
Full HD	16:9	60p	1920 × 1080	1:26'56"	1:37'38"
		30p		2:50'51"	3:11'53"
		24p		3:31'44"	3:57'48"



メモ

- ・動画の記録可能時間は、合計の記録可能時間の目安です。1回の撮影で記録可能な動画は、最大25分または最大4GBまでです。
- ・画像モニターに表示される残り記録枚数は、実際に撮影できる枚数と異なる場合があります。
- ・静止画の記録可能枚数や動画の記録時間は、記録先の容量や撮影条件などによって異なる場合があります。

動作環境

本カメラとパソコンとのUSB接続は、以下のOSで動作を確認しています。

Windows®	Windows® 11／Windows® 10
Mac	macOS 26 Tahoe／macOS 15 Sequoia／macOS 14 Sonoma／macOS 13 Ventura／macOS 12 Monterey／macOS 11 Big Sur

■ 海外でお使いのときは

本製品を海外でご利用いただくときの使用条件や留意点については、弊社ホームページの製品ページや FAQ をご確認ください。

ご不明な点はリコーイメージングお客様相談センター（ナビダイヤル：0570-001313）までお問い合わせください。

保証について

本カメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内のみ有効です。海外で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

■ 使用上のご注意

カメラ本体

- ・ 本カメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内のみ有効です。
- ・ 海外で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。
- ・ カメラを落としたり、衝撃を与えないよう十分に注意してください。
- ・ カメラを持ち運ぶときは、本体に衝撃を与えないようしてください。特にレンズや画像モニターをぶつけないよう十分に注意してください。
- ・ カメラを長時間連続使用した後は、すぐにバッテリーを取り出さないでください。
- ・ 画像モニターに太陽の光やライトが当たると、白っぽくなり見えにくくなることがあります。
- ・ 画像モニターには、一部に常時点灯、あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。また、液晶の特性上、明るさにムラが生じることがあります。故障ではありません。
- ・ 画像モニターを強く押さないでください。
- ・ 温度変化の激しいところでは、カメラ内部で水滴が生じる結露という現象が発生し、ガラス面がくもったり、作動不良などを起こすことがあります。このようなときは、一度カメラをビニール袋かバッグに入れ、できるだけ温度変化をゆるやかにし、温度差が少なくなってから取り出します。
- ・ 故障の原因になりますので、マイク、スピーカーの穴に針などを通さないでください。
- ・ カメラを濡らさないでください。また、濡れた手でカメラを操作しないでください。故障や感電の原因となります。
- ・ 大事な記録（結婚式や海外旅行等）を撮影されるときには、前もってテスト撮影をしてカメラの調子をご確認くださいとともに、使用説明書や予備のバッテリーの携帯などをお勧めいたします。



結露の発生しやすい状態

- ・ 急激な温度差のあるところに移動したとき
- ・ 湿気の多いとき
- ・ 暖房した直後の部屋や、エアコンなどの冷房が直接当たるとき

充電式バッテリー DB-120

- ・このバッテリーはリチウムイオンタイプです。
- ・出荷時にはフル充電されていませんので、ご使用になる前に必ず充電してください。
- ・火災および火傷の危険がありますので、バッテリーを開けたり、潰したりしないでください。また、60℃を超えて加熱したり、焼却したりしないでください。
- ・寒いところでは、バッテリーの特性上、十分に充電されているバッテリーを使用していても、使用時間が短くなります。バッテリーをポケットに入れるなどして暖かくしておいたり、予備のバッテリーを用意するなどしてください。
- ・使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、充電器から取り外してください。取り付けたままにしておくと、電源が切れていても微少電流が流れていますので、過放電になり使用できなくなるおそれがあります。なお、カメラからバッテリーを取り出して5日間経過すると、設定した日付・時刻がリセットされます。ご使用の際には、再度、設定してください。
- ・長期間保存する場合は、年に1回、15分程度充電した後、保存してください。
- ・涼しいところで保存してください。周囲の温度が15～25℃の乾燥したところをお勧めします。極端に暑いところや寒いところは避けてください。
- ・充電が完了したバッテリーをすぐに再充電しないでください。
- ・充電は周囲の温度が10～40℃の温度範囲で行ってください。高温で充電するとバッテリーを劣化させるおそれがあります。また、低温で充電すると、十分な充電ができません。
- ・十分に充電しても、使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命ですので、新しいバッテリーをお求めください。交換バッテリーは、必ず弊社推奨のバッテリーをお使いください。
- ・充電時間は同梱のUSBケーブル(I-USB198)使用時、約2時間(25℃)です。

■ 注意

- ・指定以外のバッテリーを使用した場合、破裂のおそれがあります。
- ・右のマークは、小型充電式電池のリサイクルマークです。
使用済みの小型充電式電池を廃棄するときは、端子部に絶縁テープを貼って、排出協力店へお持ちください。



■ お手入れと使用／保管場所について

お手入れ

- ・レンズに指紋や汚れが付くと、画質が悪くなることがありますので、ご注意ください。
- ・レンズにゴミや汚れが付いたときは、直接手を触れず市販のプロアーで吹き飛ばすか、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- ・海辺や薬品を使う場所で使用した後は、特に入念に拭いてください。
- ・万一眼鏡の具合が悪いときは、当社修理受付窓口またはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ・このカメラには高電圧回路があります。危険ですから絶対にご自分で分解しないでください。
- ・シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性の物をかけないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- ・画像モニターの表面は、傷つきやすいので、硬い物でこすったりしないでください。
- ・画像モニターの表面は、液晶ディスプレーの表面清掃用に市販されているクリーナー（有機溶剤の含まれていない物）を、柔らかい布に少量含ませて軽く拭き取ってください。

7

付
録

使用／保管場所について

- ・以下のような場所での使用および保管は、カメラの故障の原因になりますので避けてください。
 - 高温多湿、または湿度、温度変化の激しい場所
 - 砂、ほこり、ちりの多い場所
 - 振動の激しいところ
 - 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品などに長時間接触するところ
 - 強い磁場の発生するところ（モニター、トランス、磁石のそばなど）
- ・長時間本カメラをご使用にならないときは、バッテリーを取り出して保管してください。

お手入れ時のご注意

- ・必ず電源をオフにしてください。
- ・バッテリーや AC アダプターを取り外して、お手入れしてください。

■ アフターサービスについて

1. 本カメラが万一故障した場合は、保証書に記載された保証期間内で無料修理いたしますので、当社修理受付窓口かお買い上げの販売店にお申し出ください。なお、修理をご持参いただくに際しての諸費用はお客様にご負担願います。
2. 次の場合は上記保証期間内でも無料修理の対象にはなりません。
 - ① 使用説明書に記載されている使用方法と異なる使用による故障
 - ② 使用説明書に記載されている当社指定の修理取り扱い所以外で行われた修理、改造、分解掃除などによる故障
 - ③ 火災、天災、地変、落雷、異常電圧などによる故障
 - ④ 浸（冠）水、塩害、液体（雨水、ジュース、酒類等）かぶり、落下、衝撃、砂（泥）入り、圧力などによる自然故障以外の故障
 - ⑤ 保管上の不備（使用説明書に記載）、電池などの液漏れ等、カビ発生、手入れの不備などによる故障
 - ⑥ 保証書の添付のない場合
 - ⑦ 販売店名、ご購入年月日などの記載がない場合、あるいはこれらを訂正された場合
3. 保証書に記載された保証期間経過後は、本カメラに関する修理は有償修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましては、お客様のご負担とさせていただきます。
4. 保証期間内であっても、本カメラについて各部点検、精密検査などを特別に依頼された場合には、別途実費をお客様にご負担いただきます。
5. 保証の対象となる部分は本体のみでケース、ストラップなどの付属品類および本カメラに付帯している消耗品類（電池類）は保証の対象なりません。
6. メモリーカードおよび内蔵メモリー内のデータについて一切の保証はできませんので、修理にお出しになる場合には、データのバックアップをお取りください。
7. 無償修理期間中であるか否かにかかわらず、本カメラの使用に関連するデータ損失、機会損失、利益損失、回復費用、第三者請求、その他付随的、間接的、あるいは二次的損害をはじめとするあらゆる損害について当社は責任を負いません。
8. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
国外に持ち出して修理が必要になった場合は、日本にお持ち帰りの上、修理の手続きをお願いします。
9. 販売店が独自に設けている延長保証は、本カメラの保証規定には適用されません。
10. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後5年間を目安に保有しております。従つて本期間中は原則として修理を受けいたします。なお、期間以後であっても修理可能の場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。
11. 浸（冠）水、砂（泥）入り、強度の衝撃、落下などで損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われる物などは修理できない場合もあります。ご了承ください。
12. 修理箇所によっては修理に日数がかかる場合がございます。
13. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

修理にお出しになる前

- ・バッテリーの消耗のチェックと使用説明書の再読（ご使用方法の再確認）をお願いいたします。
- ・ホームページに最新の情報が掲載されていますのであわせてご確認ください。ホームページのアドレスは、使用説明書の巻末に記載されています。

修理にお出しになる際

- ・故障内容と故障箇所をできるだけ詳しくお申し出ください。
- ・修理に直接関係のない付属品類は添付しないでください。

索引

英数字

1 画像表示	50
AC アダプター	42
ADJ モード	24
ADJ モード設定	127
AdobeRGB	87
AE ロック	54
AE ロック維持	131
AF 補助光	62
AV 機器	97
Av モード	53
Bluetooth®	45, 118
BOX	124
DisplayPort™	97
DNG	87
Exif	146
Fn ボタン	23
Fn ボタン設定	129
GR WORLD	45, 117
HDR 調 (イメージコントロール)	90
ISO 感度	70
ISO 感度設定	70
JPEG 画質調整	113
JPEG 記録サイズ	87
MF	65
MF 時の自動拡大表示	65
microSD メモリーカード	40
Movie SR	93
M モード	53
M モードワンプッシュ AE	56, 131
P モード	48, 53
RAW	87
RAW 現像	106
Shake Reduction	93
Sn モード	53
sRGB	87
SR の自動オフ	93

Tv モード	53
USB ケーブル	42, 116
USER モード	122

あ

アウトドアモニター	137
赤色フィルター	89
赤目軽減強制発光 (フラッシュ)	72
赤目軽減スローシンクロ (フラッシュ)	72
アスペクト比	87
アフターサービス	171
位置情報の記録	121
イメージコントロール	90
色空間	87
インターバル合成	83
インターバル撮影	81
オートエリア AF (フォーカス)	61
オートパワーオフ	139
オートブラケット	78
オートリサイズ	121
お手入れ	170
音声記録	88
音量	138

か

カード	40
階調補正	92
回転	96
ガイド表示	23, 131
カウントダウン	137
顔 / 瞳検出	63
拡大表示	50
加工	106
カスタマイズ	127
カスタマイズ設定メニュー	34
画像の自動回転	96
画像モニター	18
画像モニター設定	136
画像モニター節電	140
カメラ名変更	117

感度	70	シャドー補正	92
強制発光 (フラッシュ)	72	十字キー優先動作	64
共有	116	充電	42
切出し (動画)	114	周辺光量補正	92
記録可能枚数	43, 164	終了画面	44
記録形式	87	出荷時初期化	26
記録設定 (静止画)	87	仕様	158
記録設定 (動画)	88	消去	98
クイック拡大	135	省電力	139
クイックビュー	48, 135	初期化	26, 46
グリッド	134	初期設定	44
グリッドの種類	136	白とび警告	134
グレイニー		ステータスランプ	49
(イメージコントロール)	90	スナップ撮影距離	61
クロップ	87, 88	スナップ距離優先 AE	53
言語設定	45	スナップ (フォーカス)	61
高感度ノイズ低減	74	スポット (測光)	68
コピー	102	スマートフォン連携	45
コンティニュアス AF		スマートフォン連携機能	121
(フォーカス)	61	スリープ	140
コンバージョンレンズ	148	スローシンクロ (フラッシュ)	72
さ			
再生	50, 94	静止画設定メニュー	28
再生アニメーション	51	接写	66
再生機能選択画面	94	設定初期化	26
再生時表示設定	134	セッティングボックス	124
再生順序設定	96	セットアップメニュー	37
再生設定メニュー	32	セルフタイマー	85
撮影時表示設定	134	セレクト AF (フォーカス)	61
撮影日表示	95	ゾーンセレクト AF	
撮影メモリー設定	86	(フォーカス)	61
時刻同期	117	測距位置拡大	51
自動画像転送	121	測距点	64
自動水平補正	93	測距点と露出の関連付け	69
絞り値	52	測光モード	68
絞り優先 AE	53	ソフト (イメージコントロール)	90
シャッター速度	52	ソリッド	
シャッターボタン確定	132	(イメージコントロール)	90
シャッターボタン設定	132	た	
シャッター優先 AE	53	ダイナミックレンジ補正	92

ダイヤル	16	パソコンと接続	116
ダイレクトキー	22	バッテリー	40, 42
多重露出	79	バッテリー状態	20
ダストリムーバル	153	バルブ	56
タッチAF	55	バルブタイマー	56
タッチパネル	21	ピクセルマッピング	153
中央重点(測光)	68	被写界深度	55
長時間露光	56	ヒストグラム	134
長秒時ノイズ低減	74	表示切り替え	20
著作権情報	146	ピント合わせ	49
追尾AF(フォーカス)	61	ピンポイントAF(フォーカス)	61
通信端末	45, 117	ファームアップ	117
手ぶれ補正	93	ファイル名	144
テレビ	97	フォーカス	61
電源	44	フォーカスアシスト	62
電源オフ時の画像転送	121	フォーカス設定	131
電源ボタンランプ	137	フォーカスバー	65
電子音	138	フォーカスフレーム	49
電子シャッター	57	フォーカスリミッター	63
電子水準器	134	フォーマット	46
電子水準器の種類	136	フォルダー新規作成	141
電子水準器のデザイン	136	フォルダー表示	95
転送	104	フォルダー名	142
動画	58	複数画像表示	95
動画設定メニュー	31	ブラケット撮影	78
動画編集	114	フラッシュ	71
同梱品	13	フラッシュ発光量	72
動作環境	166	フラッシュモード	72
ライブモード	76	フリッカー低減	136
トリミング	110	フルプレススナップ	67
な		フレームレート	88
日時設定	45	プレビュー	55
認証マーク	3	プログラムAE	48, 53
ノイズリダクション	74	プログラムオートEx	54
は		プログラムライン	55
ハイコントラスト		プロテクト	100
(イメージコントロール)	90	分割(測光)	68
ハイライト重点(測光)	68	分割(動画)	114
ハイライト補正	92	ペアリング	45, 119
		編集	106
		保管	170

保護	100
ボタン	16
ボリュームラベル	47

ま

マクロ	66
マニュアルフォーカス	65
マニュアル露出	53
無限遠（フォーカス）	61
無線通信設定	119
メニュー	25
メニュー選択位置保持	26
メモリーカード	40
モアレ低減	89
モードメモリ	133

5

ライブビュー拡大	49
リサイズ	109
リモート撮影	117
リングキャップ	148
レベル補正	111
レンズアダプター	148
連続撮影	77
連動外の自動補正	54
連番設定	145
連番リセット	145
ローパスセレクター	89
露出設定	127
露出補正	53
露出モード	52
露出モード切替	126

GR SPACE TOKYO

RICOH GR シリーズのコンセプトや世界観を施した空間で、写真やスナップの魅力をより感じていただくために、写真を観る楽しみ、撮影する楽しみを体験していただき、お客様とスタッフ、そしてお客様とお客様がつながって、写真の可能性を広げていくことを目指したコミュニケーションスペースです。

〒 150-0001 東京都渋谷区神宮前 6 丁目 16-19 原宿 WAT ビル 102

電話番号 0570-081996 (ナビダイヤル)

営業時間 11 時 30 分～ 19 時 00 分

休館日 火・水・祝日およびその他指定休館日

**[https://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/community/
grspace_tokyo/](https://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/community/grspace_tokyo/)**

お困りのときは

本書の「困ったときは」をご覧ください。問題が解決しないときには、下記をご利用ください。

■お客様相談センター <https://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/>

ナビダイヤル 0570-001313（市内通話料金ご利用いただけます）

営業時間 10:00～17:00

休業日 日曜・祝日・年末年始・弊社特別休業日およびビル施設点検日は休業

■リコーイメージングオンライン相談室

https://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/online_consultation/

修理受付

■ホームページ／電話による修理受付

ピックアップリペアサービス申し込み

ナビダイヤル 0570-001301（市内通話料金ご利用いただけます。）

営業時間 10:00～17:00（土・日・祝日、弊社休業日を除く）

※このサービスは日本全国どこからでも電話一本で弊社指定の宅配業者が梱包資材を持ってお伺いし、故障した製品を梱包してお預かりのうえ、弊社修理拠点まで安全にお届けするサービス（無料）です。

インターネットからもお申し込みいただけます。

<https://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/pickup.html>

修理お問い合わせ窓口

ナビダイヤル 0570-005140（市内通話料金ご利用いただけます。）

営業時間 10:00～17:00（土・日・祝日、弊社休業日を除く）

※都道府県別の修理品のご送付またはお持ち込み先につきましては、弊社ホームページでご確認いただけます。

https://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/repair_entry-j.html

リコーイメージング株式会社

〒224-0035 神奈川県横浜市都筑区新栄町16-1

2025年11月

Jp

JA Printed in China

78640 Z041



* 4 Q D K Z 0 4 1 *